

会長のページ 真夏のオリンピック	河野 雅行	3
日州医談 予防接種の現状と展望	峰松 俊夫	4
はまゆう随筆(その2)		6
高宮 眞樹, 宝珠山 弘, 高山 修二, 松本 宏一, 園田 泰三		
池井 義彦, 小牧 文雄, 丸山 亮, 伊達 晴彦, 原田 一道		
江藤 敏治, 山口 和正		
エコー・リレー(528)	小笠原奈月, 関本 朝久	16
メディアの目 平成の桃源郷で知る故郷の心	高城 靖	17
宮崎大学医学部だより(機能制御学講座 統合生理学分野)	高宮 考悟	24
専門分科医会だより(小児科医会)	高山 修二	25
診療メモ 薬疹について	西田 隆昭	70
宮大医学部学生のページ		
Prince of Songkla University (PSU)		
留学体験記	山本 麻由	72

あなたできますか?(平成30年度医師国家試験問題より)	18
宮崎県感染症発生動向	20
各郡市医師会だより	22
第170回宮崎県医師会定例代議員会(概要)	26
令和元年度第76回宮崎県医師会総会	32
第1回各郡市医師会長協議会	36
ベストセラー	37
日医インターネットニュースから	38
理事会日誌	40
県医の動き	47
会員の異動・変更報告	48
医師国保組合だより	50
ドクターバンク情報	51
行事予定	57
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	59
あとがき	76

お知らせ 第20回宮崎県医師会医家芸術展	15
宮崎県医療勤務環境改善支援センター	19
第3回生命を見つめるフォト&エッセー作品募集	35
令和元年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い	46
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています	55
クールビズについて	69
郡市医師会への送付文書	74
ご案内 宮崎県医師会親善ゴルフ大会	49

医師の心得

1. 私たちは、皆さまの健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成14年3月12日制定)

〔表紙作品：写真〕

越早滝

辿り着くのが困難と言われる九州屈指の難所の滝，越早滝（えっさたき）。川を溯上すること3時間，険しい道のを越えて滝の姿が見えたその瞬間，すべての苦勞が吹き飛んだ。

はやし ひろ おみ
宮崎市 林 紘 臣

会長のページ

真夏のオリンピック

かわ の まさ ゆき
河 野 雅 行

「夏に鍛える」のフレーズは「サマ」になっています。夏に限らず四季を通じて環境に負けない体力・気力造りは必要です。スポーツの起源を問えば、体を動かして食料や伴侶を得る、敵と戦う逃げる等々であり、暑さ寒さは言っておられない状況であったと思われれます。ギリシャ時代には既に古代オリンピックとして競技スポーツの記録があります。それ以前には生死を掛けた格闘技以外にも競技スポーツとしてはあったのでしょうか？ 現代スポーツの目的は、健康維持、娯楽、報酬や名誉のため等々あります。我が国では精神力をも鍛えると称して、古くは真夏に厚着をして運動する等の「我慢比べ」なるイベントがあったそうで、現在でも夏冬の違いはあっても「寒中水泳」などはニュースにもなります。どちらも健康上はあまり好ましいとは言えませんが、風習や伝統的行事でもあり是非は問えません。私も学生時代に夏合宿は酷暑の中で脱水症の一手手前まで練習を、厳冬合宿は早朝に裸足でランニングを強いられた記憶があります。もっともその成果は今となっても不明ですが。クーベルタンが「参加することに意義がある」と述べた近代オリンピックは「国際親善」やシドニー大会のように「民族融和」等の効果も期待されています。しかし、実際は成績に重点が置かれているのが現状です。国を挙げてメダル獲得を目指し強化し、国民も成績の如何に一喜一憂します。選手も期待に沿うべく無理を強いられています。ところで、2020年東京オリンピックは真夏に開催されます。過去の大会ではマラソン選手が脱水状態で意識朦朧となりながらも完走を目指す姿に観客は感動しました。しかし、この事例を美化強要すれば大きな社会問題となるでしょう。日本最初のオリンピックマラソン走者の金栗四三は脱水症で途中棄権し、「消えた日本人」と話題になったそうです。我が国における真夏のスポーツでは熱中症対策が重要であると指摘されています。これは競技者のみならず大会関係者、観客も同様です。熱中症は高気温及び高湿度も関係しており、東京の真夏はまさに熱中症の発生に最適な条件を備えています。オリンピック中継で成績と同時に熱中症患者数の発表はいただけません。十分な対策が求められます。屋外の全競技に言えますが、日医では特にマラソンは早朝のスタートを提唱しています。

現代のスポーツは安全性が重視されているのに、真夏にオリンピックが開催されるのは如何なものでしょうか。暑さと共に台風襲来も考慮しなければなりません。1964年オリンピックは統計上最も条件の良い時期に開催されたので、大きなトラブルは記録されていません。2020年も同じ時期がベストと思われれますが、決定までに海外での他のイベントや放送時間との関連で様々な圧力が働いたそうです。この点からも商業ペースに振り回され過ぎると批判のある現代オリンピックを見直す時期かもしれません。

(令和元年 7 月 12 日)

日州医談



予防接種の現状と展望

理事 峰 松 俊 夫

【はじめに】

1980年に世界保健機関（WHO）から痘瘡根絶宣言がなされ、今もなお予防接種を用いた感染症根絶へのためまぬ努力が続けられている。ここでは風しん、麻しん、流行性耳下腺炎と予防接種の最近の話題を取り上げてみたい。

【基本再生産数（R）と集団免疫率】

伝染病対策の基本は集団免疫の獲得である。痘瘡根絶の際には、患者が発生した地域の村人全員を一斉に種痘することで、集団免疫を獲得させていた。感染症が流行するか否かは、対象集団においてどれくらいの人がある病原体に対する免疫を持っているか、すなわち集団免疫率の関わりが大きい。

では、どれだけの集団免疫率があれば、対象となる伝染病は流行しないのだろうか。その指標となるのが基本再生産数（Basic reproduction number： R_0 ）である。これは免疫を持たない集団に感染者が1人いたとして、その感染者から何人に感染が広がりうるかという推測数である。例えば、インフルエンザの R_0 は2～3であり、インフルエンザウイルス感染者1人から新たに2～3人に感染が広がると予想されている。

他の感染症の R_0 はどれくらいかという、空気感染で広がる麻しんの R_0 は約20であり、飛沫感染の流行性耳下腺炎の R_0 は約13、風しんで約8と推測されている。インフルエンザは流行するというイメージがあるが、予防接種による集団免疫対策がされていなければ、麻しん

や風しんはインフルエンザよりもはるかに感染が広がりやすい疾患である。

さて、集団免疫率が高くなるにつれ、集団の中で感染しない者が増えていき、その集団の R_0 は減少することになる。ついには、 $R_0 < 1$ となると流行が自然消滅することを意味する。

R_0 と集団免疫率（Herd immunity：H）には、『 $H = (1 - 1/R_0) \times 100$ 』の関係がある。集団免疫率が麻しんで95%以上、流行性耳下腺炎（ムンプス）で92.5%以上、風しんで87.5%以上あれば、それぞれの感染症の流行は自然に抑えられると予想されている。

【風しん】

かつて、妊婦があらかじめ免疫を獲得しておけば、先天性風しん症候群の発生はないと考えられていた。そのため、1977年4月から1994年3月までは女子中学生のみに集団接種が実施され、男子中学生には予防接種が実施されなかった。

現在の風しん患者は当時ワクチンを接種しなかった男子（現在40歳～57歳）に多く、この年齢群の男性が風しんウイルスを社会に拡散している。そこで、この年齢群の男性に対して、今年度より3年をかけて第5期風しん定期予防接種が始まった。国立感染症研究所の調べによれば、他の年齢群の男女はすべて88%以上の免疫を獲得していたが、40歳～57歳の年齢群の男性の免疫獲得率は79.6%であり、全年齢群で最低の抗体保有率であった。この男性集団の免

疫率があと10%上がれば、前述の風しん対策の目安とされる集団免疫率87.5%をすべての男女年齢群で上回る。40歳～57歳男性の免疫獲得率をあと10%引き上げられるかが、日本における風しん対策が成功するかの鍵となっている。

【麻しん】

2015年、日本はWHOから「麻しん排除国」に認定された。しばしば話題になる国内での麻しんの小流行は、すべて海外からの輸入感染症とされる。しかし、麻しんの R_0 は約20であり、免疫を持たない者への感染力は驚くほど強い。麻しんはその感染力もさることながら、その病態も重篤であり、時に命に関わる状態になりうる。

麻しんウイルスが原因となるもう一つの疾患に亜急性硬化性全脳炎（SSPE）がある。麻しん後脳炎は致死率10%～20%ほどの急性の脳炎であるが、SSPEは100%の致死率であり、SSPEと麻しん後脳炎は全く異なる病態である。ただし、SSPEは麻しんワクチン接種で防げる。

現在、麻しんと風しんのワクチンはMRワクチンとして接種されている。このMRワクチンは、風しん、先天性風疹症候群、麻しん、SSPEの4つの疾患を予防するワクチンであることを言及しておきたい。

【流行性耳下腺炎（ムンプス）】

一昨年から昨年にかけて、ほぼ1年間に渡り日南市でムンプスが流行した。市内の保育施設においてムンプス患者が発生し、3か月の間に園児93名中64名（68.8%）が発症した。もともと、ムンプスの発症率は70%ほどとされており、この保育施設のほとんどの園児が感染したことになる。ムンプス予防接種を受けていた2名の園児は発症しなかった。

ムンプスの発生動向調査は小児科定点で行われるが、保育施設の周辺地域には小児科施設が

なく、内科・外科にて診察されており、多くのムンプス患者が罹患報告されていなかった。また、地域内に留まった流行では県内全体の患者数を押し上げるには至らず、現在の国の感染症サーベイランスでは県単位の流行把握はできなかった。さらに、当時の日南市でムンプス任意予防接種への助成がされていなかったことも流行の大きな原因と考えられた。

令和元年度からムンプスワクチンの助成が県内の全市町村で始まっている。しかし、日本小児科学会が推奨する1歳児と5歳以上の未就学児への接種に限られていることが多い。日南市においては、今もなおワクチン接種対象とならなかった3～4歳児にムンプス罹患が生じている。流行地域では年齢を問わない接種助成などの柔軟な対策が必要であろう。

なお、従来、ムンプス難聴は稀と考えられていたが、最近の研究報告では0.1～0.25%くらいの発生率と考えられている。昨年度は日南市で3人のムンプス難聴児が報告された。予防接種対策がされていればと思うと残念でならない。

【最後に】

現在、延岡市、日向市、日南市、串間市の4市は乳幼児へのロタウイルスワクチンの接種助成を実施していない。しかし、ロタウイルスワクチン接種事業を開始した地域から、成人の胃腸炎が激減したとの報告があり、その経済効果は非常に大きいと考えられる。宮崎県医師会では任意接種の助成事業を支援していきたいと考えている。

人類が根絶したヒト感染症に痘瘡があり、ヒト以外の動物感染症では牛疫がある。これらの感染症を根絶した方法は、治療薬の利用ではなく、予防接種のみである。また、B型肝炎関連肝細胞がんや子宮頸がんといった腫瘍ウイルスによる悪性腫瘍に対しても予防接種が用いられている。今後の新たなワクチン開発にも注目していきたい。

はまゆう随筆 その2

(7,8,9月号に分けて掲載しております)

うーん困った、医師法第21条

宮崎市 高宮病院 たかみやまき 高宮真樹

平成31年2月8日、厚労省医政局医事課長が「医師による異状死体の届出の徹底について」の通知を出した。

“医師が死体を検案するに当たっては、死体外表面に異常所見を認めない場合であっても、死体が発見されるに至ったいきさつ、死体発見場所、状況等諸般の事情を考慮し、異常を認める場合には、医師法第21条に基づき、所轄警察署に届け出ること”とし、その背景として「薬物中毒や熱中症による死亡等、外表面に異常所見を認めない死体について、所轄警察署への届出が適切になされないおそれがあるとの懸念が指摘されている」と説明した。

1994年に発表された法医学会「異状死ガイドライン」で異状死の解釈について混乱がはじまり、東京都の様に必要のない場合においても医師法第21条の届け出を要求する自治体もでてきた。しかし、1999年に起こった都立広尾病院の消毒薬誤注射事故の裁判において、2004年に最高裁は「死体の検案とは、医師が死因等を判定するために死体の外表を検査すること」との判断を示し、さらに2012年に当時の医事課長が「死体の外表を検査し、異常があると医師が判断した場合に警察署に届け出る」と発言したことで、外表異常説が明確になりつつあった。届け出の対象を限定的にすべきなのは、医師法第21条には罰則規定（医師法第33

条の2）があり、これは罰金刑だが、この後に医道審議会による行政処分の対象となる可能性も出てくる。

しかしもっと深刻なのは、医師法第21条の届出がされたなかで診療行為との関連が疑われたものについては業務上過失致死での捜査の対象となる可能性がある。誰もそのような取り調べを受ければ“心の傷”を負ってしまう。医療事故調査制度創設に関わる厚労科研研究班や厚労省検討部会でそうした立場に追い込まれた医師の姿をみたが、痛ましいものであった。そのような医師を増やしたくないものだ。しかも、医師法第21条には24時間要件があり、遺族等の訴えにより後になって「24時間をこえて届け出なかった」という理由で医師が起訴されることも考えられる。くわばら くわばら。

「日精協誌6月号」より引用

旅は道づれ世は情け

延岡市 ほうしやま 子どもクリニック ほうしやま 宝珠山 ひろし 弘

人生論を語る身分ではないが、私なりの人生がある。人間とは、人生とは、心とは、人の病いとは、何だろう。

世界の平和は築くことはできないのか、まさに夢多き人生で、夢はいつまでも求めるものであり、これまでとは言わない。まさに人生は旅とも言われる。

ところで、人を笑わせることや、喜ばせることは難しい。筆をとると、ついセンチな文章になるのはどうしてだろう。

今日日本に欠けたるものは、中心的な信条だ。歴史的国民性はあるが、個人的にも信条は必要である。

私の小学校時代には、教育勅語があった（今でもありありと覚えている）。今日の教育に大いに取り入れるべきである。ここで私の信条を並べてみる。

- イ 親しき仲にも礼儀あり
- ロ 不自由を常と思へば、不足なし
- ハ ボロは着ても、心に錦
- ニ ありがたい心を常にもつ
- ホ 親孝行は親を喜ばすことなり
- ヘ 病んで気がつく境地あり
- ト 美学をもった労春でありたい
- チ 当たり前ことに感謝する
- リ 眞の宝は心である
- ヌ 心の美しい人を美人と言う

人生先のことは分らないものだと言う。しかし歴史を学び、人生の先輩の話をよく聞いて文学を学び、哲学を学び、現代史も学び、そして新しきを知る心掛けが大切だ。宗教は現在生きることに必要な分野である。日本には日本の教育があることを、認識すべきであり、まさに人生は「不思議な世界」で、自分は生かされているようだ。

先人の良寛僧の云ふ如く「トシヨリ笑ふな行く道じゃ」「子ども叱るな来た道じゃ」ああ人生ははかないものですね。元気を出して「令和元年に幸あれ」と祈りつつ、つい俳人・芭蕉の句を思い出した。

行く春や、鳥なき魚の目になみだ
旅に病んで夢は枯野をかけめぐる

月日は百代の過客にして行きかふ人もまた旅人なり

うきうきウクレレ

高鍋町 たかやま小児科 たか やま しゅう じ
高 山 修 二

還暦も過ぎ、ボケ防止になにか新しいことに挑戦しようと考えていたら、♪明るく陽気に行きましよう～、ぴろきさんの笑顔に、これだ、ウクレレだ！ウクレレに挑戦してみようと思い立ちました。ウクレレは特別な体力も必要なく雨天でテニスができないときにもできるし、一人でもできるというのがもう一つのってつけた理由です。思い立ったが吉日、今年2月にウクレレ本体、チューナー、ケース、簡単な教本付きで1万数千円という挫折しても後悔しない程度、家内から叱られない、馬鹿にされない程度の（こちらの比重が大きい!?!）ものをネットで購入。値段からしてあまり期待していませんでしたが、届いたらこれが期待以上。初心者向けのサイトがないかと探していたらありました。ユーチューブにアップしてある『ガズの簡単ウクレレ』。何はともあれ簡単なコードで、かつウクレレを弾きながら楽しく歌うというコンセプトと無料で（せこい！）好きなときに練習できる点が気に入りました。昔懐かしい曲を弾いて歌えるようになる度に満足度もアップ。ただ、満足度と上達度が比例しないのは悲しい限り。最初は8ビートで弾きながら歌うのにも苦労しました。ギターに比べると敷居が低いけど、結構奥が深いことも知りました。今は、時々ソロ弾きにも挑戦したり、我々世代になじみの牧伸二よろしく、♪あーあーやんなっちゃったの替え歌作りをしたりしてストレス解消し

ています。その一つ、宮崎市夜間急病センター当直明けに（朝から発熱していた子どもを深夜につれてこられたお母さんとのやりとりを題材に）作ったものをご紹介します。

♪深夜におこされカルテを見たら、朝から発熱、「何で今?」「インフルエンザが流行中、昼間の検査じゃ早すぎる」 あーあーやんなっちゃった、あーあー驚いた♪

カナリア諸島

宮崎市 まつもと整形外科医院 まつもと こういち
松 本 宏 一

「トルティーヨ」と言って、「エスト」「エスト」「エスト」と、玉葱、ハム、トマトを指差してオムレツを頼むのが毎朝の始まりとなりました。

今年の5月の連休は天皇の生前退位の影響で長い連休となりました。田野町に整形外科を開業して26年になりますが、初めて手に入った長期休暇です。以前より、長男と今年の5月が10連休になれば、一緒にカナリア諸島へ行こうという話をしていました。平成30年10月半頃に長男より電話があり、5月の連休の予定が国会で決まりました、つきましては自分が旅行の予約をしますからあなた方2人の旅券番号を教えなさい、ということでした。今回の旅行は全部子どもにまかせっきりとなり、長男夫婦に私たち夫婦が連れていってもらおうという形になりました。

カナリア諸島はサハラ砂漠の横、モロッコの西側にあります、スペイン領です。スペイン人達の保養地の島として有名です。今回私達はグランカナリア島に行きました。カナリア諸島の中で1番大きな島で人口86万人、面積1,560km²

です。

平成31年4月28日に成田空港を出発し、マドリードで便を乗り換え、グランカナリアのラスパルマス空港に降りました。ラスパルマスはグランカナリアの北端の都市で、まずこちらのホテルに4泊し、旅行後半は南端の都市マスパロマスに3泊しました。

ホテルの朝食は普通においしくて、料理人にオムレツを焼いてもらって食べていました。子ども達とは旅行の間、昼食の時だけ一緒に過ごしました。観光は別々でした。昼食の時間は午後2時に始まり4時頃まで続きます。cavaやワインを飲みながら食べるのですが、これがスペイン流らしく、まわりの人々も大抵ワインを飲んでいて、この昼食からお酒を飲むというのはリゾートに来ている私達には最適な習慣でした。ここで食べるスペイン料理は、海鮮も肉料理も全てすばらしく、自分は生まれた時からスペイン料理が好きだったという記憶が新しく刷り込まれるくらいおいしいものでした。魚、えび、かに、牛肉、ラム肉、イベリコ豚、パエリアおいしかったです。

旅行中の天気は午前中は曇りで、午後は晴れるという日が続きました。雨は降りませんでした。ホテルの前に広がる砂浜の海水に1度足をつけてみましたが、かなり冷たくて、海に入る気にはなりませんでした。砂浜を歩いたり、プールサイドや部屋のベランダの折畳みベッドに寝ころがって過ごしました。

砂浜やプールサイドに、時々トップレスの女性がいました。スペイン人にはこれがあたりまえの事の様です。老若を問わず、そのまま上向きに寝て、乳を太陽に当てていました。特に南側のマスパロマスのホテルでは、プールサイドや庭に夥しい数の折畳みベッドが並べてあり、ホテルの客達は朝からベッドの上で太陽の光に当たり、肌を焼いていました。それはまるでひとつの信仰の様に見えました。太陽の光で、その

白い肌が真赤になる程焼けば何か良い事があるのでしょうか。日本の湯治場を連想させます。

マスパロマスのホテルの近くに大きな砂丘があり、ラクダツアーを行っていました。この砂はサハラ砂漠から飛んで来た物ではなく、火山島であるカナリヤ諸島自身の溶岩が風化して、砂になったということです。ラクダに乗って1時間程砂丘を歩くのですが、日射しが強く、サングラスと帽子は必需品です。このあたりは太陽の光が強く、日本の太陽と同じ太陽を見ていると思うのですが、その光は白く色が付いていて、まぶしくて目をあけてもらえません。子どもの忠告を聞いて、日本からサングラスを持って来ておいて正解でした。白人達色素の少ない人々はさらに大変そうでした。

日本から時差8時間の大西洋の島まで来たせいか、少し郷愁を感じながら、海岸に立ちますと、空の色よりかなり青味の強い少し丸みを帯びた水平線が見渡せて、古い時代から現代まで、この水平線とマスパロマスの燈台を目に見ながら遠い航海に出て行った多くの人々の事が思い起こされ、大航海時代のヨーロッパ人達や近くは日本の水産会社の船に乗ってタコ漁に来ていた日本人達と、グランカナリヤの眼前の風景を共にできている様な気持ちになります。

神秘的な島・屋久島

小林市 野尻中央病院 その だ たい ぞう
園 田 泰 三

5月下旬、南九州が梅雨に入って間もなく、屋久島を訪れた。周囲130km九州最高峰の宮之浦岳1,935mを有する島である。島の40%が国有林であり、1,000m級の山々がそびえ立ち今でも奥深く入った登山者が遭難することも珍し

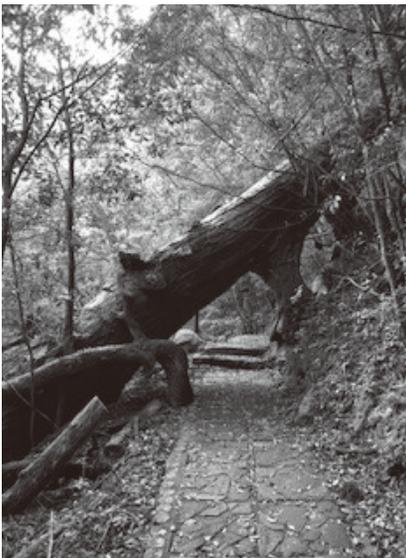
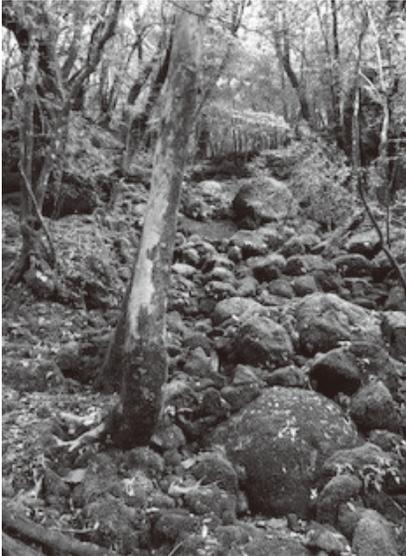
くない。島の山の中には有名な縄文杉もあるが、樹齢1,000年を超える屋久杉が生い茂る神秘的な森がそこにあった。



江戸時代（寛永）からの屋久杉伐採という悲惨な歴史から330年経ち1970年に屋久島原生自然環境保全地域に指定され伐採は禁止になった。山中に入ると当時伐採され放置された屋久杉が散乱している。当時、商品に適さない曲がった樹木、穴の開いた樹木はその場に放置され土埋木として今でも森に息づいていた。健全な屋久杉を切り倒すことは禁止されているが、山に野放しにされた土埋木は50年たった今でも、なぜか腐らない。それは島の気候風土が、この放置された倒木を生かしている。

1か月に35日降る降水量、脂分の多い木材、そしてびっしりと生えたコケのおかげらしい。ひとたび山に入るとスギとコケ、うねり絡みついた幹、複雑に地表に出た根、すぐに太古の時代にタイムスリップ、別世界へ導いてくれる。そして何故か懐かしい優しい、落ち着いた気持ちになり、力溢れるパワースポットに誘ってくれる。倒木や切り株から新しい枝が芽吹き、生命力あふれる森につつまれ、何とも言いようのない力を感じた。

街で売られているお土産品は、国が管理した土埋木から工芸品へと生まれ変わり命を吹き込まれ、今でも手に触れる身近な屋久杉である。忙しい日々の仕事から抜け、思いっきりマイナスイオンを浴びリフレッシュできた屋久島の旅であった。



趣味の音楽鑑賞

小林市 池井病院 いけ い よし ひこ
池 井 義 彦

学生時代より続いている趣味としては、音楽を楽しむことだけになった。時代とともに様々なジャンルの音楽を聴いてきたが、基本的には洋楽が中心である。

東京で生活している時は、ライブとかにも出かけ、やはり生音は良いと、自分のオーディオの音に失望することもあった。カーオーディオもカセットテープからCDと変化し、CDも自分で編集した物を聴けるようになった。私は通勤に片道約1時間を要するため、車内は貴重な音楽鑑賞の空間である。

以前は、出張のたびに現地のレコードショップに出かけ、大量に買い込んでくるのが楽しみだったが、時代の流れでショップの数は減り、ネットでの購入が増えた。

最近では、ゆっくりと自宅で聴く時間はなく、パソコンのiTunes内に音楽をインストールし、パソコン内で様々な内容で分類し、携帯電話内に入れて持ち歩く、車内で聴くなどをして楽しんでいる。iTunesにはスマートリストがあり、キーワード毎に分類することができ、選曲をするのに便利である。また、プレイリストは自分の選曲した曲を集め、様々な状況で楽しむことができる。

音楽は、私にとって大切な存在になっており、いわば滋養強壮剤であったり、精神安定剤であったりする。今はデジタルだけであるが、また以前のように部屋で、レコードに針を落とし、ジャケットを眺めながら、ゆっくりお酒を飲めるようになることを楽しみにしている。

70歳までに100登山

三股町 一心外科医院 小 牧 文 雄

開業して十数年もすると金銭的負債も軽くなり、ひと段落ついた余裕で、天気の良い日曜日は診療所を離れてひとり山に出かけた。静寂の中で聴く鳥のなき声や木々の緑、谷川のせせらぎ、何もかもやわらかで新鮮に感じられた。その頃は山といえば霧島山系しか知らず、中岳から新燃岳、獅子戸岳、韓国岳を経てえびの高原に下る霧島縦走（またはその逆コース）がメタボの体にはきついなながらも楽しかった。新燃岳の火口底にできたコバルトグリーン湖とその脇から噴き出す白いガス煙をはるか下に見ながら火口縁を半周する登山道では感激と緊張が半々だった。昭和34年、私が10歳の時に起きた新燃岳の噴火の記憶が脳裏に残っているせいだと思っていたが、平成23年の爆発的噴火でこの山が活火山であることを改めて認識させられた。なおここは映画「007は2度死ぬ」のクライマックスシーンで雄大な霧島連山上空をボンドが黄色い一人乗りのジャイロコプターで空中偵察する場面に使われている。最近ではドローンを使った山の映像を目にすることも多くなったが、その時はスクリーンでみる空撮の霧島の山々の美しさに変感激したものだ。もっとも火山湖の下にスペクターの秘密基地があるということは知らなかった。

春や秋に年1～2回程度だった登山を、60歳を過ぎたころから70歳までに「100登山」と思ったのは足腰の鍛錬を考えてのことだった。100名山や100山ではなく、100登山なら無理せず自分でも可能だろう。無論多くの山に登りたいが、同じ山に何回登ってもいいこととした。70歳を前にして現在99登山にまで到達した。このうち霧島山系が30回以上で、次いで多いのが双石山である。いずれも自宅から近

く、かつ登山ルートが多くて飽きないが、後者は低山なので山というより森と岩壁の中を移動する時間が多い。それでも日没が早い冬季には手ごろな山で、特に通称「ルンゼ登山口」から入る行者ルートは迷路的？冒険的要素があり楽しかった。ただし正式な安全ルートではないので勧められない。そのほか複数回登った山は祖母山、大崩山、久住山系、屋久島、市房山、尾鈴山などで、特に花や紅葉の季節が多かった。1回きりだった山は、自宅から登山口まで遠い山が多いが、なかには悪路だったり、ひとけがなく登山開始から下山まで全く人に会わないこともあり、こうした山では登山道も目印が消えかかり道迷いしやすいので注意が必要である。西都市と西米良村境界部に位置する掃部岳では登山口に向って山道を車で走っていると、左の山の斜面からニホンカモシカが一頭で下りてきて、ゆっくり私の車の前を横切り、横切ってからこちらをしばらく見ていたが、やがて悠然と右の崖を下って消えてしまった。慌ててカメラを取り出そうとしたが、後部座席においてあり手が届かず写真が撮れなかったことが残念である。

山岳遭難者の70%以上が60歳以上などという誠に耳が痛い記事を読みながら、そして他人事でない体の老化をあちこちに感じながら、さて100登山のあとはどうするのか今は思案中である。



ラスベガス

宮崎市 丸山胃腸科クリニック まる やま りょう
丸 山 亮

5回目のラスベガスだった。日本からラスベガスへは直行便がないため、羽田や成田から出発して、アメリカの主要空港で乗り継ぎをする必要がある。

宮崎からは18時間以上を要するが、今回、飛行機遅延のため、さらに7時間を要した。空港では、ひたすらビールを飲み続けるしかなかった。

ラスベガスのマッカラン空港には、午前0時に到着し、タクシーでベラージオホテルに直行した。ベラージオは、人工湖の奥にたたずんでいる贅を尽くしたホテルで、音楽とコラボした噴水ショーでも有名である。ホテルのエントランスを抜けると、ベネチアングラスで作られた美しい花々が、天井に咲き誇っていた。さらに奥の植物園には、日本の庭園をモチーフにした満開の桜と、高さ10メートルの大阪城が見事にライトアップされていた。午前2時前だったが、植物園もカジノも客であふれかえっていた。部屋に入ると、2台の冷蔵庫が設置されていたが、ビールの冷えは今一つだった。その日の午後には、バドワイザー（ビール）を10本仕入れに行き、冷蔵庫の設定温度は最低にしておいた。

私のラスベガスでの一番の愉しみは、ショーの鑑賞である。日本でも公演をおこなったシルク・ドゥ・ソレイユは、オリンピックのメダリストも参加する、世界屈指のパフォーマンス集団である。現在、ラスベガスでは、7種類のパフォーマンスを、それぞれのホテルで午後7時、9時30分の2回公演している。中でも私の一押しは、ミスティアである（今回が4度目♡）。ミスティアは、シルク・ドゥ・ソレイユの最初の作品であり、人間の持てる極限の力や

技を結集した、笑いあり感動ありのショーである。ただ今回は、パフォーマーが宙返りに失敗し、床に叩きつけられるというハプニングを目の当たりにした。微動だにしなかったパフォーマーは、その後、仲間達に抱えられ、ステージを後にした。命がけのショーをおこなっているパフォーマー達には、改めて感服させられた。

災害時メーリングリスト

都城市 信晴会
伊達クリニック だ て はる ひこ
伊 達 晴 彦

2019年5月10日午前8時48分に、宮崎市・都城市で震度5弱の激しい地震が発生しました。日向灘を震源とする震度5弱以上の地震は1996年12月3日以来だそうです。テレビでは、直ちに地震速報が放送され、更なる災害発生への警鐘が鳴らされました。都城市郡医師会では、2018年8月4日の大規模地震時医療活動訓練（内閣府主催）時に、都城市郡医師会に所属する有床病院と都城市郡医師会病院とを結ぶ災害時メーリングリストを作成しました。EMISとは別の発想で、院長・事務長・看護師長などの有床病院代表者の個人携帯と、都城市郡医師会病院を結ぶメーリングリストです。南海トラフ地震発生時の後方支援能力の調査も兼ねて、各有床病院の ①被災の有無 ②都城市郡医師会病院からの支援の必要性の有無 ③入院可能病床数の3項目を情報収集します。訓練時は20有床病院より返信があり、約200床の入院可能病床を確認できました。2019年5月10日に発生した地震発生直後、都城市郡医師会病院救急部名越先生から相談を受け、災害時メーリングリストへ発信しました。今回は、後方支援能力調査は必要でないと考え ①被災の有無

②都城市郡医師会病院からの支援の必要性の有無のみの情報収集にしました。速やかに25病院代表者中20人より（後日調査を含めると24人）返信があり、4施設は病院内エレベーター等に軽い被害を受けましたが、都城市郡医師会病院より支援が必要な病院はありませんでした。都城市内で震度5弱の激しい地震は予想外でしたが、約9か月前に作成した災害時メーリングリストが今回正常に機能し、都城市郡医師会会員有床病院の安全確認が速やかにできたことは、大きな成果でした。このメーリングリスト作成に理解・協力してくださった方々に感謝すると共に、このメーリングリストの精度を更に向上させ、地域や県内の災害医療に役立てて行きたいと考えています。

某月某日の在宅当番医制

宮崎市 医療法人慶明会 生目眼科クリニック 原 田 一 道

休日、時間外診療難民については、コンビニ受診、高齢者当番免責、連休時振り当て、スタッフの振休など物議を醸しだしている。休日の朝、新聞紙上の在宅医のチェックの習慣はいつ頃始まったか、自身の急性疾患発症を配慮してのことか定かでない、顧みると恒例の休日のゴルフは、内科系、外科系のオーソリテイがパートナーで、その安心感は何物にも代えがたし。

当院の某月某日の当番医制は野戦病院さながらであったが、Kleinefachでも地域医療に多少とも貢献したと感じたので印象的症例を記してみた。

症例1：診断、術後眼内炎。難治性白内障の存在が疑われた、術中の術者の胸中が痛いほど窺がわれた、消炎の応急処置を行い、前医に

情報提供し終了。

症例2：診断、角膜潰瘍。Rezidivを繰り返している、bacterial? aseptic? Genese不明のため前医の苦悩が偲ばれた、緊急対応で抗菌剤DIVにて終了。

症例3, 4：診断、角膜上皮剥離。昨夜の眼痛、忍耐の忍であったか。

症例5：診断、コンタクトレンズによる角膜上皮障害。コンプライアンス不良、クラスⅢの高度医療機器扱い、薬事法なんのその。

症例6：診断、急性カタル性結膜炎。延岡市在住、通院所要時間2時間、在院時間30分、休日にて塗沫鏡検省略、起炎菌不詳、empiric therapyにて投薬 没法子。

5時半、後方病院へ留守電スイッチ、施錠、一日の責務を全うし不十分ながらも満足感を背に帰路。

あとがき：古語、死語、多国籍語の頻用になりました、ご容赦ください。

看護大学で医師だからできること 『元気な街づくり・人づくり』

宮崎市 宮崎県立看護大学 江 藤 敏 治

看護大学の地域貢献事業として6年前から日南で健康志向の街づくり・人づくりと題し健幸講演会をはじめ様々な活動を行ってきました。

3年間の活動の結果、健診受診率が40%を超え、一人当たりの生活習慣病に係る医療費が6,000円以上も減少。『すごい』の一言に尽きます。

3年前から串間でバージョンアップした健幸講演会を毎月開催、当初60人だった参加者は現在150名となりました。参加された方は5人

分の資料を持って帰りお友達に説明してくれています。すごいです。講演会は毎回90分、私が話すのは40分程で、あとは皆さんでお互い意見交換、歌って、笑って、褒め合って、皆が友達になっていきます。平均年齢は70歳くらい。小学校の頃の友達とこの会場で会えることが嬉しいという人も多く、私の母もそのうちの一人です。母の友達や私の同級生のお父さん、お母さんも数多く参加してくれ、授業参観さながらの光景です。ニコニコして元気な皆さんが益々元気になって講演会終了後は拍手・握手の嵐です。その中から『健幸の匠』という市民ボランティアの会ができ、皆で考えた健幸標語の入ったカレンダーを作って市民に配り、お祭りではプラカードを掲げ健診受診を呼び掛けながらパレードに参加！またしても日南と同じく健

診受診率が急上昇してきました。素直に嬉しい！

20年ほど前からは小・中学校で『予防する力～なりたい自分になるために』をテーマに『自分を愛すること』『自己肯定感の向上』を目指して講演しています。最近では学校が保護者参観日に講演会を合わせてくれます。感謝です。一番健診を受けず喫煙率が高い世代です。子どもは親を変えてくれる力があると信じています。そして今は亡き日野原重明先生との『命の授業』も続けていきたいと考えています。最後に、今宮崎県のKDB解析結果を基にした健康施策について検討中です。皆さんの日々の診療にも必ず役に立つはずです。乞うご期待ください。

無題

日南市 日南病院 山口和正

星空に神話紡ぎし古えの人も寄り添う我らが夜に

幾光年遙かな旅の赤き星おまえは既に死んでいるのか

コスモスの咲き揺れ見上ぐ碧空の雲の彼方は遙か宇宙

野の花も祝福されて咲き誇る生産性の是非は及ばず

深山の麻痺児を医者を訪ぬれば祖父銃持ちて鹿でもてなす

動けるに動かぬ人は贅沢と動けぬ人の動かぬからだ

親願うせつかく生まれた命故全うさせたき人生ありき

母を超え背からはみ出す麻痺児負い受診する坂桜満開

預けよと言えども母は頑なに麻痺児抱きしむ身は壊れるに

終わりになき介護に疲れ先見えず母よ殺すなやはり殺人

お知らせ

第20回 宮崎県医師会医家芸術展

会員先生方並びにご家族の優秀な作品を一堂に展示した、医家芸術展がいよいよ9月4日(水)より5日間、宮崎県立美術館にて開催されます。

今年は120点の作品が展示される予定となっております。

多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。

展示期間：9月4日(水)～8日(日) 10時～18時(8日のみ15時まで)

場 所：宮崎県立美術館 2F県民ギャラリー

(宮崎市船塚3-210 県総合文化公園内)

部 門：書道, 絵画, 写真

出 展 者：宮崎県医師会会員・ご家族(高校生以上)

問合せ先：宮崎県医師会 学術広報課

(TEL：0985-22-5118 FAX：0985-27-6550)

書道部門

大迫	文子(宮崎市)	岡村	公子(延岡市)	田畑	直人(宮崎市)
山内	励(宮崎市)	弓削	和子(宮崎市)	弓削	三重子(宮崎市)

絵画部門

浅見	鳴子(宮崎市)	新木	るり(日南市)	安藤	宣(西都市)
内田	攻(宮崎市)	大塚	早智(宮崎市)	大西	敦子(宮崎市)
黒川	基樹(宮崎市)	竹村	龍之助(宮崎市)	谷口	飛鳥(宮崎市)
谷口	二郎(宮崎市)	谷口	浩子(都城市)	長沼	弘三郎(延岡市)
藤木	浩(宮崎市)	丸田	眞美(宮崎市)		

写真部門

井ノ口	晶子(宮崎市)	井ノ口	信子(宮崎市)	井ノ口	麻利子(宮崎市)
木佐貫	冬星(宮崎市)	楠元	正輝(宮崎市)	桑原	淑子(小林市)
佐々木	究(宮崎市)	佐藤	秀子(高千穂町)	末岡	常昌(延岡市)
竹尾	康男(宮崎市)	田崎	高伸(宮崎市)	田中	宏幸(宮崎市)
谷口	飛鳥(宮崎市)	谷口	二郎(宮崎市)	西村	篤乃(宮崎市)
原	政樹(宮崎市)	藤浦	富子(日南市)	丸田	茂徳(都城市)
丸田	英夫(宮崎市)	丸田	眞美(宮崎市)	康田	明照(日向市)
山路	健(都城市)				

(敬称略・各部門50音順・令和元年7月22日現在)

エコー・リレー

(528 回)

(南から北へ北から南へ)

私のルーツ

宮崎市 宮崎大学医学部 研究医 おがさわら 小笠原 奈 つき 月



テレビゲームに対しどのようなイメージがあるだろうか。目が悪くなる、運動不足になる、犯罪につながる…こういった悪いイメージを持つ人も少なくはないだろう。だが少なくとも私

にとっては現在の私を作り上げた重要な要素だと思う。母によると3歳頃からゲームをしていたようで、RPG、アクション、パズルなど様々なジャンルのものをやりこんだ。隠しボーナスや裏ルートを見つける観察力、完全クリアを目指し諦めずに何度も挑戦する根気強さ、そしてコントローラーを操る手元の繊細さなどはゲームを通じて身につけたと思う。対戦プレーでは姉妹喧嘩で度々怒られたが、協力プレーではコミュニケーションの大切さも学んだ。

これらが今、医師の仕事で生かされていると思う。身体所見や画像所見を見る観察力、わからないことやうまくいかないことは納得するまで調べたり練習したりする根気などなど。そして、各所で定評のある内視鏡や腹腔鏡のセンス（社交辞令かもしれないが）は間違いなくゲームで培われたものだろう。

中学生以降は部活や友だち付き合いで忙しくなりほとんどしていなかったゲームだったが、数年前から再び遊ぶようになった。ソフトごとの操作方法になかなか対応できなかつたり、3D酔いやドライアイに苦しめられたりと加齢を痛感するが、これからも臨床力向上のため真摯にプレーし続けていこうと思う。わが子を医者にしたい読者の皆さん、お宅にもテレビゲームはいかがですか（笑）

〔今回は、延岡市の大塚 晃生先生をお願いします〕

タイムマシンに乗って

宮崎市 宮崎大学医学部 附属病院 せき もと とも ひさ 関 本 朝 久



永年の歴史あるこのエコー・リレーに寄稿させていただき心からうれしく思っております。令和に改元されるGWに、平成最後の大掃除をして今流行りの断捨離をしました。平成4年に医師となり28年目を迎えた

私の部屋は、膨大な過去の資料が積み重なり、足の踏み場どころか入ることもままならない状況でした。片付けを始めて間もなく予想以上の大雪崩が発生しました。その時ポツンと昔の「学園だより」が目に入りました。ちょうど私が卒業の時に読んだ原稿が掲載してある号で、懐かしく手を止めて読み入ってしまいました。

『～卓越した医療技術を持ち、かつ患者さんと、その家族の心の痛みのわかる医師。それが私たちの目標とするものなのです。しかし、医療は医師一人で成し得るものではありません。医師間のみならず、患者さん、家族の方々、看護婦、その他患者さんを取りまく全ての人々と一体となって手当をしていく、これが本来の医療のあるべき姿と考えます。私たちはそのことを肝に銘じ、患者さんの側に立った医療を実践していく覚悟であります。～「先生に診てもらえて本当に良かった」と、心の底から言われるような医師を目指して一日一歩ずつでも決して後退することなく進んでいきたいと思えます。～』

医師人生の折り返し地点の私は、もう一度初心にかえって頑張っていこうと令和の始まりに固く決意しました。ふとこの「学園だより」は、遠い未来の私がタイムマシンに乗ってやって来て、今改めて自分を見直すようにと、そっと置いて行ってくれたのではないかと思っています。

〔今回は、宮崎市の福田 健二先生をお願いします〕

メディアの目

ふるさと
平成の桃源郷で知る故郷の心時事通信社 宮崎支局長
たか しろ やすし
高 城 靖

宮崎へ赴任して早いもので丸2年が過ぎました。赴任当初から、せっかく宮崎に来たのだから「県内すべての市町村を訪問する」を目標に、公私に渡り車を走らせ各地を訪れましたが、西米良村、椎葉村を訪ねる機会はないままでした。

6月中旬、西米良村の小学校で全児童にタブレット端末を配布し、授業や家庭学習に利用する「ICT（情報通信技術）を活用した教育に力を入れている」との話を聞き、取材を兼ねて訪問する機会を得ました。

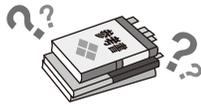
西米良村は宮崎県の西部に位置し、人口1,100人ほどと県内で一番人口が少ない自治体です。西都市を抜け、西米良村へ入ると「ようこそ平成の桃源郷西米良村へ」の看板が現れます。ここを越えると山間に入るため、小生のスマートフォンは電波の強度を示すアンテナマークが「圏外」を表示。通話、インターネットアクセスともにできなくなりました。「本当にこの地域でICT教育が行われているのか？」と多少の不安を抱えつつ、村の中心部にある小学校に到着。校内に入ると、子どもたちがタブレット端末を片手に「こんにちは」と元気な挨拶で迎えてくれました。3年生の理科の授業を見学しましたが、タブレット端末で児童各々の意見

や考えを出し合い、グループで話し合い、先生が操作するスクリーンに全児童の考えを映し出す。この全員の意見、考えの「見える化」で児童同士が情報を共有し、他者との違いを理解できるようになったとのこと。

この「見える化」で、子どもたちに相手の本当の気持ちを知り、思いやる心、ひいてはふるさと西米良で培われてきた「菊池の心」を受け継いで行って欲しいと関係者は話してくれました。

小生の出身地は、熊本県菊池市。平安時代の後期から菊池地域一帯を治めた菊池一族が室町時代の後半に安住の地を求めて、西米良村に移り住んだとされています。この繋がり、西米良村と菊池市が姉妹都市となっているのは知っていましたが、「菊池の心」①礼節の心②励む心③粘る心④尽くす心を小さい時から教えられ、受け継がれていることに驚きました。実のところ、今回の訪問で初めてこの4つの「菊池の心」を知った次第です。現在、菊池市で同様の教えを子どもたちにしているのかは定かではありませんが、少なくとも西米良村で大切にされていることに感動するとともに私自身も大事に次の世代に残していきたいと思いました。

残すところ、未訪問地は椎葉村。今度はどんな感動を見つけることができるのか楽しみです。



あなたできますか？

—平成30年度 医師国家試験問題より—

(解答は31ページ)

- 胃体部進行癌が浸潤しにくいのはどれか。
 - 肝 臓
 - 膵 臓
 - 大 網
 - 胆 嚢
 - 横行結腸
- 眼瞼下垂の原因となるのはどれか。2つ選べ。
 - 加 齢
 - 霰粒腫
 - 甲状腺眼症
 - 滑車神経麻痺
 - コンタクトレンズ長年装着
- 救急外来を受診した感染症が疑われる患者で敗血症の存在を考慮する評価項目として、意識レベルとともに有用なのはどれか。
 - 体温と脈拍
 - 体温と血圧
 - 脈拍と血圧
 - 脈拍と呼吸数
 - 血圧と呼吸数
- 21歳の男性。発熱と咳嗽を主訴に来院した。体温39.2°C。脈拍108/分、整。血圧120/70mmHg。呼吸数16/分。SpO₂97% (room air)。血液検査のため、右肘正中皮静脈に採血針を穿刺した直後に気分不快を訴えた。顔面蒼白となり、全身に発汗を認めたため、直ちに採血を中止した。次に行うべき処置はどれか。
 - 仰臥位にして下肢を挙上する。
 - 採血部位に冷湿布を貼付する。
 - アドレナリンを静脈投与する。
 - 呼吸回数を増やすように指導する。
 - 採血部位に局所麻酔薬を皮下注射する。
- 終末期がん患者のケアについて正しいのはどれか。2つ選べ。
 - 家族に対するケアも行う。
 - 死について考えるのを避けさせる。
 - 自然治癒の可能性や新薬発見などへの希望を改めさせる。
 - 患者の担っていた社会的役割に配慮したケア計画を立てる。
 - 家族との面会よりも医療スタッフによるケアを優先させる。
- 72歳の女性。下腹部痛と血便のため救急外来を受診した。本日就寝前に急激な下腹部痛と下痢が出現した。数回の下痢に続いて鮮紅色の血便が出現したため受診した。20年前から糖尿病と高血圧症で自宅近くの診療所に通院している。意識は清明。体温37.2°C。脈拍96/分、整。血圧142/92mmHg。呼吸数20/分。SpO₂96% (room air)。腹部は平坦で、左下腹部に自発痛と圧痛を認める。筋性防御を認めない。血液所見：赤血球380万、Hb11.4g/dL、Ht39%、白血球11,200 (桿状核好中球4%、分葉核好中球55%、好酸球2%、単球7%、リンパ球32%)、血小板23万。血液生化学所見：総蛋白6.9g/dL、アルブミン3.8g/dL、総ビリルビン0.9mg/dL、AST24U/L、ALT27U/L、LD267U/L (基準176~353)、アミラーゼ60U/L (基準37~160)、尿素窒素21mg/dL、クレアチニン1.1mg/dL、尿酸6.6mg/dL、血糖138mg/dL、HbA_{1c}6.9% (基準4.6~6.2)、Na141mEq/L、K4.4mEq/L、Cl99mEq/L。CRP2.1mg/dL。動脈血ガス分析 (room air)：pH7.41、PaCO₂36Torr、PaO₂90Torr、HCO₃⁻24mEq/L。

最も考えられる疾患はどれか。

 - 虚血性腸炎
 - 薬物性腸炎
 - 肛門周囲膿瘍
 - 好酸球性胃腸炎
 - 上腸間膜動脈閉塞症
- 62歳の女性。便潜血の精密検査を目的に来院した。便潜血検査による検診を受け、1日目が陽性、2日目が陰性であったため、精密検査が必要と判定されて受診した。友人から「内視鏡検査は苦痛だ」と聞いており、内視鏡検査を受けることを躊躇している。便通は毎日あり、便秘狭小化はない。最近数年間で体重の明らかな増減はない。既往歴に特記すべきことはない。喫煙歴はなく、飲酒は機会飲酒。大腸癌の家族歴はない。身長155cm、体重56kg。腹部は平坦で、軟で、肝・脾を触知せず、圧痛を認めない。

最も適切な対応はどれか。

 - 「腹部超音波検査を行いましょう」
 - 「大腸癌の腫瘍マーカーの血液検査をしましょう」
 - 「経過をみて、6か月後に便潜血を再検査しましょう」
 - 「便潜血の再検査を行い、その結果で考えましょう」
 - 「大腸内視鏡検査の必要性について詳しく説明させてください」
- 成人で喘息の増悪をきたす可能性が最も高い薬剤はどれか。
 - 利尿剤
 - β遮断薬
 - ヒスタミンH₁受容体拮抗薬
 - 塩基性非ステロイド性抗炎症薬
 - アンジオテンシンII受容体拮抗薬
- 長期間無月経をきたした女性で注意すべき続発症はどれか。
 - 色素沈着
 - 骨粗鬆症
 - 子宮内膜症
 - 末梢神経障害
 - 月経前症候群

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境 改善支援センターを ご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい!
- 育児・介護中の休み方、働き方は?
- 医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- スタッフのキャリアを磨きたい!
- 補助制度を上手に活用したい。
- 効率良く、経営を安定させたい。

相談
無料



まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター

公益社団法人宮崎県医師会内

月曜～金曜 午前10時から午後4時まで

TEL.0985-20-1211

FAX.0985-27-6550 E-mail iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

宮崎県感染症発生動向 ～6月～

令和元年 6 月 3 日～令和元年 6 月 30 日（第23週～第26週）

■全数報告の感染症

- 1 類：報告なし。
- 2 類：○結核33例（男性10例・女性23例）：保健所別報告数は【図1】，病型別報告数は【表1】，年齢別報告数は【表2】のとおりである。
- 3 類：○腸管出血性大腸菌感染症 1 例：都城保健所管内から報告があった。0～4歳で，主な症状は水様性下痢がみられ，原因菌のO血清型はO111 (VT1, 2) である。
- 4 類：○レジオネラ症 3 例：宮崎市（2例），延岡（1例）保健所管内から報告があった。60歳代 2 例，80歳代 1 例で，病型はいずれも肺炎型である。主な症状として発熱，咳嗽，呼吸困難，下痢，肺炎等がみられた。
- 5 類：○カルバペネム耐性腸内細菌感染症 4 例：宮崎市（2例），都城，延岡（各 1 例）保健所管内から報告があった。70歳代 3 例，80歳代 1 例で，主な症状として肺炎，腹膜炎，菌血症がみられた。
- 急性弛緩性麻痺 1 例：都城保健所管内から報告があった。10歳代で，主な症状として弛緩性麻痺がみられた。
- 急性脳炎 2 例：宮崎市保健所管内から報告があった。いずれも 0～4歳で，病原体はHHV6が 1 例，病原体不明が 1 例である。主な症状として発熱，痙攣，意識障害がみられた。
- 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。70歳代で，血清群は B 群である。主な症状としてショック，DIC，軟部組織炎がみられた。
- 梅毒 2 例：都城，延岡（各 1 例）保健所管内から報告があった。20歳代，60歳代（各 1 例）で，いずれも男性であった。病型は無症状病原体保有者，早期顕症梅毒（Ⅱ期）（各 1 例）である。主な症状として梅毒性バラ疹，肝機能障害がみられた。
- 播種性クリプトコックス症 1 例：宮崎市保健所管内から報告があった。60歳代で，基礎疾患はくすぶり型ATLである。主な症状として頭痛，発熱，意識障害，骨病変，中枢神経系病変がみられた。
- 百日咳28例（男性14例・女性14例）：保健所別報告数は【図2】，年齢別報告数は【表3】のとおりである。主な症状として持続する咳，夜間の咳き込み，呼吸苦，スタッカート，嘔吐等がみられた。百日咳のワクチン接種歴は有（21例），無（1例），不明（6例）である。
- 風しん 1 例：都城保健所管内で報告された。40歳代で，検査診断例である。主な症状として発熱，発疹，リンパ節腫脹がみられた。海外渡航歴は無く，ワクチン接種歴は無かった。

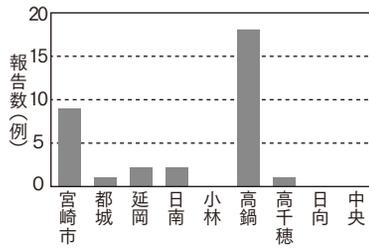


図1 結核 保健所別報告数

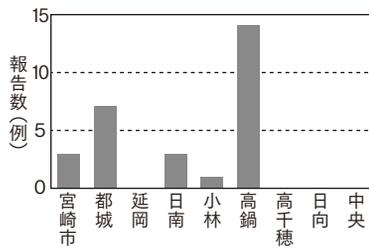


図2 百日咳 保健所別報告数

表1 結核 病型別報告数(例)

肺結核	13
その他の結核（腸結核，結核性胸膜炎）	3
無症状病原体保有者	17

表2 結核 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
20歳代	2
30歳代	3
40歳代	4
50歳代	4
60歳代	6
70歳代	5
80歳代	6
90歳代	3

表3 百日咳 年齢別報告数(例)

年齢	報告数
0～4歳	3
5～9歳	9
10歳代	14
20歳代	1
40歳代	1

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	コクサッキーウイルスA 4 型	1
	コクサッキーウイルスA 6 型	5
	ヒトパレコウイルス 3 型	1
	風しんウイルス	1
	インフルエンザウイルスAH3	2
	インフルエンザウイルスB（ビクトリア系統）	2
	単純ヘルペスウイルス 1 型	1
細菌	<i>Vibrio cholerae</i> 非O1,非O139,CT (-)	1
	EHEC (O26:H11,VT1)	1

■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,027人（定点あたり92.4）で，前月の80％，例年の90％であった。

前月に比べ増加した主な疾患は流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患は伝染性紅斑とヘルパンギーナである。

手足口病の報告数は947人(26.3)で前月の約0.6倍、例年の約1.1倍である。中央(50.0)、宮崎市(45.3)保健所からの報告が多く、1~2歳が全体の約6割を占めている。

伝染性紅斑の報告数は94人(2.6)で前月の約0.9倍、例年の約1.5倍である。延岡(5.0)、日南(3.7)、宮崎市(3.6)保健所からの報告が多く、3~5歳が全体の約半数を占めている。

ヘルパンギーナの報告数は265人(7.4)で前月の約0.6倍、例年の約1.4倍である。延岡(15.0)、小林(11.7)、日向(11.3)保健所からの報告が多く、1歳以下が全体の約6割を占めている。

前月との比較

	2019年6月		2019年5月		例年との比較
	報告数(人)	定点当たり(人)	報告数(人)	定点当たり(人)	
インフルエンザ	19	0.3	137	2.3	
RSウイルス感染症	36	1.0	39	1.1	
咽頭結膜熱	127	3.5	121	3.4	
※溶レン菌咽頭炎	457	12.7	438	12.4	
感染性胃腸炎	846	23.5	1,020	28.8	
水痘	24	0.7	38	1.1	
手足口病	947	26.3	1,509	42.4	
伝染性紅斑	94	2.6	100	2.8	★
突発性発しん	131	3.6	137	3.9	
ヘルパンギーナ	265	7.4	421	11.8	★
流行性耳下腺炎	19	0.5	20	0.6	
急性出血性結膜炎	1	0.2	0	0.0	
流行性角結膜炎	58	9.7	27	4.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	3	0.4	4	0.6	

★例年同時期(過去3年の平均)より報告数が多い
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

■月報告対象疾患の発生動向 (2019年6月)

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は40人(3.1)で、前月比138%と増加した。また、昨年6月(2.5)の125%である。

《疾患別》

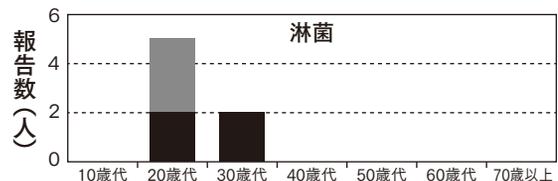
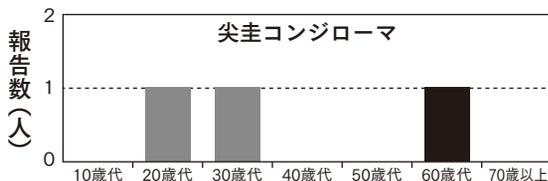
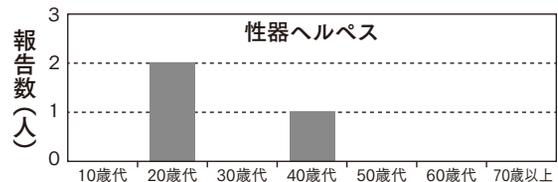
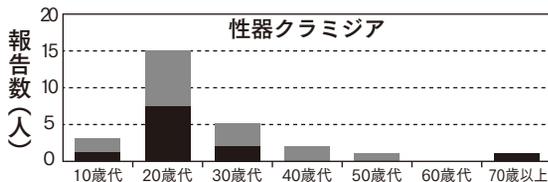
○性器クラミジア感染症：報告数27人(2.1)で、前月の約1.3倍、昨年6月の約1.2倍である。

20歳代が全体の約6割を占めている。(男性12人・女性15人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数3人(0.23)で、前月と同率、昨年6月の0.6倍である。(女性3人)

○尖圭コンジローマ：報告数3人(0.23)で、前月の3.0倍、昨年6月の1.5倍である。(男性1人・女性2人)

○淋菌感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約1.8倍、昨年6月の約2.3倍である。(男性4人・女性3人)



■ 男 ■ 女

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は15人(2.1)で、前月比83%と減少した。また、昨年6月(2.4)の88%である。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数15人(2.1)で、前月の0.8倍、昨年6月の約0.9倍である。70歳以上が全体の約7割を占めている。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告なし。

(宮崎県衛生環境研究所)

各郡市医師会だより

延 岡 市 医 師 会

延岡看護専門学校は1952年に医師会立准看護師養成所として開設され、1977年に高等看護学校も創設し、現在までに准看護師、看護師合わせて5,000名以上の卒業生を輩出し、県内定着率も80%以上と県北の地域医療に多大なる貢献をしています。2016年の全国看護師数は121万人に対し、准看護師は34.7万人にすぎず、うち75%が40歳以上、25%が40歳未満になると言われています。准看護師は第2次世界大戦後に看護師が足りず、中学卒で入学し養成した制度で、「医師または看護師の指示を受け業務を行う」と縛りがあります。しかし、看護師不足の中、特に地域に密着し看護を支えてきた准看護師の働きは評価されるべきで、また最近の准看護師課程は高校既卒や大卒が7割と多く、社会人の学び直しの教育機関としての役割も担っていると考えています。准看護師課程は医師会立が78%と多く、経営は厳しく多額の赤字を抱えながらも地域医療のためにと、医師会がサポートし続けてきた歴史があります。しかし、医師会立の准看護師学校は、2013年193校から5年で16校減り、2019年も6校、2020年も3校採用中止予定です。准看護師課程の応募者も、2013年2.5万人から5年で半数以下に激減し、入学者も2018年7,000人を割り、しかも1,000人以上定員を下回っています。少子化が叫ばれている中、2017年の高校進学率は96.5%に上り、高卒者が如何に看護職を選択してもらえるかを考えなくてははいけません。延岡医師会の将来構想検討委員会が行った県立高校へのアンケートでは、高校生の90%以上がレギュラーコースへの進学を希望と衝撃的な結果が出ています。医師会の今まで支えてきた、高等課程（准看護師）→専門課程（看護師）という進学コースを、変化の速い今の時代にどう合わせていくか…喫緊の課題です。

(金井 一男)

宮 崎 市 郡 医 師 会

宮崎市郡医師会病院等移転新築工事進捗状況等についてご報告いたします。工事は滞滞なく順調に進められています。病院棟におきましては、地下免震装置の設置が完了し、地上部分の鉄骨建方が行われております。

8月末には6階建て病院棟の壮大な鉄骨概観を遠方からでもご覧いただけたと思います。現病院敷地内に建設されました病棟モデルルームの活用も非常に有用で、病棟スタッフならではの貴重なご意見を頂戴することができ、それを活かした機能的で清潔な病室になりそうです。新病院は、来年8月1日には全ての移転を完了し、8月6日前後から通常の診療が開始される予定です。

(首藤 謙二)

都 城 市 北 諸 県 郡 医 師 会

当地では、宮崎市に次いで学術講演会が行われる。担当理事として、最近の感想を述べたい。最近の講演会は、共催の製薬会社の規定が厳格になり、事前にスライド検閲が入り、保険適応外の発表ができず、必ずスポンサーのスライドが入るようになって、自由度がなく興味ある内容が乏しくなっている。演者や座長もほとんどスポンサーの指名であり、講演会後の情報交換会も、以前は丸テーブルに椅子（当地の名物）が用意されていたが、数年前より椅子はなくなっている。ご年配の諸先生の参加が少なくなって寂しい限りである。参加人数も年々少なくなっており、たまに多いときは、ほとんどパラメディカルで占められている。生涯教育の単位取得のために必要であるが、残念に思うのは私だけでしょうか？

(大橋 剛)

日向市東臼杵郡医師会

“天災は忘れた頃にやってくる”という言葉がなくなるのではと思えるほど、国内各地で毎年のように地震や豪雨等による大規模災害が頻発しています。

そのような中、当医師会では、より実践的な医療救護活動を行うために「災害医療救護活動マニュアル」の改訂作業に取り組んでいます。特に、医療救護活動を担う医療班の編成では、医療機関の所在地の地形状況を確認しながら検討を重ねており、様々な種類の大規模災害に迅速に活動できる新たな体制づくりを目指しています。

(千代反田 晋)

児湯医師会

児湯看護学校は、毎年優秀な成績（ここ10年以上試験合格率100%）で、秀逸な人材を輩出しております。昨年から私も授業の一環をまかされることとなり、わずかながらお手伝いしております。教育を担う重みを感じつつ若い生徒達を前にすると、ついつい老婆心ながらよけいなことを口走っては、呆れられています。一方、実習の際は児湯郡内の施設で熟練スタッフの指導の下、充実した体験をさせていただいています。ただ唯一の問題は、毎年の収支決算が大きくマイナスであることでしょうか。

(永友 淳司)

西都市西児湯医師会

西都児湯医療センターの新病院建設予定地ですが、市は利用者にとって交通の利便性（バスや自動車によるアクセスが良い）に優れていて、市役所本庁舎が近くにあり行政との連携が密に行えるとして、現場所の近くに建設する考えを決めたみたいです。少子高齢化時代に合わせ、中心地に近いところが便利だと医師会も考えております。

今後は、国の審査を受けて病院事業債の申請が認められたら、新病院（91床）が建設されることとなりますが、毎年人口が減少していくこの地域で本当に経営が上手くできるのか、またマンパワー不足のこの時代に24時間の救急医療ができるのか心配しております。

(鶴田 明土)

南那珂医師会

地域の高齢化が加速し、在宅医療の必要性は高まってきています。当医師会では「在宅医の会」を組織していますが、在宅医の不足、在宅介護力の不足、情報共有ネットワークの未浸透など、困難な問題が多数あります。在宅ケア研究会等での多職種顔の見える関係づくり、在宅医不在時の“諭吉システム”の活用、NET4-Uの利用促進、先進地域の情報収集、住民への啓発活動を進め、施設介護も増加してきている現状をふまえて、行政とも協働して地域内の在宅医療推進に努めています。

(竹中 晃司)

西諸医師会

小林看護医療専門学校は、西諸医師会並びに西諸二市一町で誘致し、平成27年4月に開校しました。昨年度までに第2期生までを輩出し、看護師国家試験も2期連続で合格率100%となっております。本学校の生徒には、開校当初より西諸医師会が設けた返済免除型の「地域はぐくみ奨学金」にて支援を行っております。1期生は38名が卒業し、うち28名が西諸地域の医療機関へ就職、2期生は33名が卒業し、うち23名が西諸地域の医療機関に就職しており、その就職者のほとんどが地域はぐくみ奨学金を利用しております。多くの卒業生に当地域で働いてもらうために、本奨学金が非常に重要なものであると改めて感じているところです。

(寺谷 威)

宮崎大学医学部だより

機能制御学講座 —統合生理学分野—



たかみや こうご
高宮 考悟 教授

宮崎大学医学部・機能制御学講座・統合生理学分野のご紹介を、教授をつとめさせていただいております。高宮からお伝えしたいと思います。

私が、石河延貞（故人）
先生、河南洋先生の後を引

き継いで今年で10年となりました。人間10年も経ちますといろいろなことがあったと感慨深く思っています。これまでこの教室を去っていった方や新しく入って来られた方がいて、その構成メンバーによって新しい教室としての顔を変えてきました。

基礎医学講座ですので、その他の業務はありますが、基本的に教育・研究が日常の仕事の柱となります。

教育に関しましては、医学部医学科の2年生対象の神経生理学の系統講義と3年生対象の神経科学の講義が中心となります。学生時代、試験前に過去問題のコピーでしか勉強してこなかった私が、医学部の学生に教えること自体大変おこがましく思っているのですが、時代の要望でしょうか、そのようないい加減な講義もできずに、偉そうに「この本を一冊読破せよ」と学生に教えています。それはどこか若い時に、上の先生から「共同執筆の本より、単独執筆の本の方がためになる」と言うのを聞いたことが頭の片隅に残っていたことがあります。確かに臨床を経験していると、今はネットで情報は氾濫しています。わからないことがあると携帯で調べると、すぐに必要な情報が手に入ります。しかし、一人や少数の人によって書かれた医学書には、なにか教訓のようなものがあって、学ぶところがあるなと思い、そのスタイルで、講義

を進めています。さらに、必要な知識を網羅しなくてはならないので、『聞いたことがある』『勉強したことがある』という記憶だけでも学んでいる学生に残せばいいなと思って講義を行っています。

3年生対象の神経科学では、私が学生の頃にはこのような講義はなかったのですが、ボーダーレスのサイエンスの世界、正解のない医学の進歩に対応できるように、神経内科・脳神経外科・精神科・神経眼科・神経耳鼻科・小児科・麻酔科・心理学などの先生方の協力をいただき、基礎的な医学知識がどのように臨床医学に通じるのか、さらに先端医学・サイエンスにどう発展するのかを教えたいと思って行っています。どこまで学生に思いが伝わっているかはわかりませんが、いつか医師をやっている人生の中で、ふと思いつくことがあればお願い講義を行っています。

研究に関しましては、もともと中枢神経系で中心をなす神経伝達物質であるグルタミン酸の受容体の研究を行ってきました。本学に赴任してスタートし、長年かかった「グルタミン酸受容体による神経機能の制御機構」の一部が完成に近づいてきました。私たちは、分子レベルから神経機能を探ろうというスタイルで研究を行ってきましたので、その研究がどういった方向に行くか予想できません。コツコツと、あーでもない、こーでもないと地道に研究を進めた結果、今までやってきたことが小児の発達障害の方向に向かいそうだなということが見えてきました。まるで一人の子どもを育てるような仕事です。このような腰を据えた研究スタイルも、日々研究費にびくびくするアメリカなどの研究と違い、日本のような研究環境がなせる技だと思います。

時々、ご子息を本学に入学させた先生方とお話する機会があります。昔と違い、今の医学部の学生は、学ぶことも多く勉強が大変だとは思っています。しかしその先には、「やってよかった」と思えるよう、伝える側も頑張るとともに、またそうなることを願わずにはおれません。

専 門 分 科 医 会 だ よ り

(小児科医会)

たかやましゅうじ
高山 修二 会長

今年度は県役員の変更がありました。串間、日南市のおたふくかぜ任意接種補助実現に尽力いただいた野田隆幹事が勇退され、新たに山見信夫幹事が就任。新しい風を吹き込んでくださ

るのではと期待しています。

さて、宮崎県小児科医会は、春（5月）と秋（11月）の年2回学術集会を開催しています。会員発表2題と県内外から特別講演の講師2人を招いています。今まで会員発表は、大学病院と県病院からの発表に依存することが多かったのですが、ここ数年は、一演題を県病院と大学病院が春秋交互に発表、もう一演題はそれ以外の会員が発表するというスタイルが定着してきています。会員の日々の診療を学術的にまとめる作業を通じ、会の活性化に寄与していただいているのではと感じています。昨年から新たに始めた事業、『子ども健康セミナー』の2回目は、6月22日(土)に野井真吾日本体育大学健康学科教授を講師に招き開催されました。多くの子どもに関わる方達の健康意識の底上げに繋がればと思っています。また、いつ起きてもおかしくないと言われている南海トラフ巨大地震等自然災害に備えて、東京で行われている災害時小児周産期リエゾン養成研修会に年2回各1名ずつ小児科医会会員から派遣しています（国が主催し、県から派遣要請がくる事業ですが、費用は当会持ちで、ちょっと釈然としない点もありますが）。昨年は、大規模地震時医療活動訓

練も当県で行われ、今後解決すべき課題が挙げられました。

ところでなんとといっても今年最大のトピックは小児科医や産婦人科医の25年来の悲願であった「成育過程にある者およびその保護者並びに妊産婦に対し必要な成育医療等を切れ目なく提供するための施策の総合的な推進に関する法律（成育基本法）」が成立したのでしょうか。虐待やいじめの増加、不登校児童の増加、待機児童の問題、医療の地域格差、貧困問題や障がい児への対応、全国どこでも希望する予防接種を自己負担なく受けることができるようにする世界水準の予防接種体制作り、成育期を通じた健診体制の構築等小児科関連だけでも課題は山積みです。これらの解決は、育児と仕事が両立できる社会作りの基礎でもあります。子どもの心身の健やかな成長のため、生まれてから大人になるまでの成育過程全体を切れ目なく支援する（縦割り行政の弊害を解消する）ための成育基本法を実のある法律にすることが今後の我々に課された課題だと思っています。そのために、日本小児科医会とも連携し（理事と委員として各1名当県から参加）、活動していきたいと思っています。

最後に、今年度から本制度に移行した「地域総合小児医療認定医制度」の認定医に加え、認定指導者も誕生する予定です。多くの小児科医がこの資格を取得し、自身の小児科医としての技量を高めると共に、地域のリーダーとして活躍していただきたいと思います。

第170回宮崎県医師会定例代議員会（概要）

と き 令和元年6月15日(土)

ところ 県 医 師 会 館

1 開 会

鮫島議長が欠席のため、松本副議長が本代議員会の議長となり、代議員の定数及び出席代議員の確認を行い、定款第30条の規定に基づき定例代議員会の成立を宣言した。

続いて、定款第31条第2項の規定に基づく議事録署名人に、3番 牛谷義秀代議員と16番 田中宏幸代議員を指名した。

2 河野県医師会長挨拶

（要旨）県医師会は、地域医療の将来に道筋をつけるべく、役職員一同全力を挙げて奮闘・努力している。

現在、県医師会では多くの課題を抱えている。本年秋の消費税増税は、社会保障充実のため止むなしとされる一方、いまだに反対も多く、政治情勢も流動的である。医療機関の負担増については、日医の対応により、今回は基本診療料の加算で決着したが、将来の増税も見据えて抜本的な対策が求められる。

新たな専門医制度について、日医は、医師の自己研鑽の一つの手段であり、地域医療を支える「かかりつけ医」とは明確に分けて考えるべき、従って全ての医師が専門医になる理由はないとしているが、多くの医師が専門医コースを選択している。そのような中、宮崎県の専攻医は、昨年37名と全国最下位であった。諸方面の努力により、今年は52名と増加したが、全国平均にはいまだ程遠い。

昨年、国が発表した宮崎県の医師数は全国32位で下位1/3グループであった。しかも50歳以下の医師が半数を割っている。若い医師を増やすには専攻医を、専攻医を増やすには研修医を、研修医を増やすには宮崎大学への

県内出身者の入学と地域枠充実を、との法則が成り立つ。県医師会では、大学、県、研修機関との連携によるオール宮崎体制で、研修内容や受入体制の改善を模索している。若手医師を確保するのは勿論であるが、育った医師の活躍の場として魅力ある職場を確保することが必要である。

地域医療については、常に医師会が中心となって推進しなければならない。更に日医の考えでは地域医療の核となるのが「かかりつけ医」で、地域の医療機関を中心とした医療連携が基本であるとしている。今後、ますます「かかりつけ医」の役割が重要になってくる。

医療事故調査制度は、当初、宮崎県では予想を超えた報告数が続いていたが、昨年度末頃から落ち着いてきた。本県が全国平均と比較して件数が多かったのは、制度が正しく理解されていることの表れである。関係者のご協力を感謝したい。

昨年、診療報酬改定が行われたが、日医の努力で最小限の譲歩で解決した。しかし、財務省の方針は、医療費削減を大前提としている。地域医療崩壊の最大の原因は医療費の抑制である。更に医療から介護へのシフトも強まっている。医療類似行為も増加しており、医療機関の守備範囲の縮小も懸念される。既に日医は次年度の改定に向け活動を開始している。我々も強力に日医を支える必要がある。

働き方改革では、時間外労働の制限、有給休暇の強制的な取得、同一労働同一賃金、パート労働の改善等が問題となっており、職員を抱える医療機関は法的な義務が課せられる。罰則等もあるので注意をお願いしたい。

医師の時間外労働については、応召義務や地域医療に対する医師の倫理感等との関連もある。医師の健康を守るには改善は必要であるが、法律で厳格に規定すれば、直ちに地域医療の崩壊につながる恐れがある。法律で労働時間のみを規制する前に、医療のあり方を見直すことが急務と考え、日医でもプロジェクト委員会を立ち上げている。

医療介護総合確保基金については、昨年度、全国4位となる約40億円の配分が行われた。これも県行政や政治家と共に皆様方のご協力の賜物と感謝したい。このことから医政の重要性を再認識した。今後も地域行政や地元出身政治家との連携をよろしく願いたい。

先日、日向灘で地震があり相当強い揺れを感じた。また豪雨もあったが、幸い県内で大きな被害は出なかった。改めて緊急時・災害時医療の重要性を痛感した。その他、医業継承問題、看護師をはじめとする医療従事者の確保、介護予防対策、ロコモ予防やフレイル対策、高額医療材料・薬剤費、医政並びに選挙等々、多くの課題を抱えており、常時取り組んではいませんが、解決するのが難しいものばかりである。我々医師会の使命は「県民の生命と健康を守る。すなわち地域医療を守り会員を守る」ことである。皆様のご協力を賜りながら日医や関連団体とも連携しつつ、役職員全力で取り組んで行きたい。困難な状況を打開するには会員の大同団結と、更に医政が重要である。ご存じの政治家や地域行政には、是非、地域医療に対する医師会の想いをお伝えいただくと共に、今後とも先生方の強力な支援をお願いしたい。

3 報 告

1) 平成30年度宮崎県医師会事業報告について

定款第62条の規定に基づき、山村副会長が、6月4日の第1回理事会で承認された

事業報告の説明を行った。

(要旨)重点項目に「1. 国民皆保険の堅持」、「2. 地域医療の充実」、「3. 医療安全の確保」を掲げ、各郡市医師会及び会員の先生方のご協力を賜りながら事業を進めてきた。

生涯教育の推進と充実を図る事業では、日医の生涯教育制度で443の学会等を認定した。保険診療に関しては九州厚生局の行う個別指導等に県医師会役員が立会(計25回)を行った。また診療報酬改定の対応として「向精神薬の長期処方に関する研修会」を2回開催し延べ700名を超える方々に参加いただいた。

地域医療及び救急医療の充実を図り、県民に公平な医療供給の推進を行うと共に「健康社会」の構築に寄与する事業では、医師確保に関する事業として、県・大学・医師会の3者が連携して、高校生、医学生、研修医といったそれぞれの年代をターゲットに、研修後も宮崎で働いてもらえるよう取り組んだ。その他にも、女性医師の離職防止と復職支援、医師の働きやすい環境の整備、地域医療介護総合確保基金の確保、在宅医療、医療安全、医療勤務環境改善、医療秘書等の事業を行っている。

県民の健康保持・増進に関する事業では、毎年リーダーも多く恒例となっている「県民健康セミナー」を創立記念医学会と合同で開催した。

保健事業の一体的推進を行う事業では、母子保健、学校保健、産業保健等に関する事業を行っている。

その他、医師国保組合や医師協同組合にご協力いただいている会員福祉、日医や九医連と連携した事業等を行った。

平成31年4月1日現在の会員数は、1,793名と前年比9名増となっている。

最後に、本会の事業に対する皆様方のご理解、また会員のご協力に心より感謝申し上げます事業報告とさせていただきます。

2) 平成31(令和元)年度宮崎県医師会事業計画について

定款第61条の規定に基づき、山村副会長が、3月12日の第4回理事会で承認された事業計画の説明を行った。

(要旨)本年度の重点項目に、新たに「医師及び医療従事者等の働き方改革への対応」を追加した。日医社保指導者講習会の復講は伝達講習会に変更。診療報酬改定の対応は、消費税増税に伴う今年10月と来年4月を考えている。その他、成育基本法に基づく諸事業の展開や働き方改革関連法(労働基準法・労働安全衛生法・じん肺法)改正への対応を行っていく。

令和2年7月から宮崎県医師会が九医連の担当県になるため、次期担当県としての取組みを追加し、各種行事の検討、総会、医学会の企画、準備委員会の設置等を新しく追加している。

新たな問題については積極的に情報収集及び情報発信し迅速に対応したいと考えている。今年度も皆様のご指導とご協力をお願いして報告とさせていただきます。

3) 平成31(令和元)年度宮崎県医師会収支予算について

定款61条の規定に基づき、吉田常任理事が、3月12日の第4回理事会で承認された収支予算の説明を行った。

(要旨)収支予算書(正味)の収益、物品販売収益は印刷物販売事業を医師協同組合へ移したため0円。取扱事務費収入は生命保険の事務費収入が290万円の減、治験手数料も取扱数の減少により320万円の減を見込んでいる。受託事業収益は760万円の増で主に労働局の勤務環境改善支援センター事業の増額である。雑収益は会

員名簿の発行がないため広告料分の減である。以上、経常収益計は、前年度予算比85万円減の4億2,168万円となる。

次に経常費用は、職員増に伴い給与手当350万円、臨時雇賃金120万円、職員退職給付費用154万円がそれぞれ増となる。続いて、物品仕入は事業移管により0円。会議費は常任理事協議会の開催回数削減等により179万円の減。旅費交通費は九医連担当県の交替等により332万円の増。減価償却費は基幹システム等の取得により114万円の増。続いて修繕費は、修繕計画に基づき165万円減の見込みである。印刷製本費は会員名簿印刷分が減となる。

以上により、経常費用計は前年度予算比509万円増の4億2,105万円で、経常収益から経常費用を引いた当期経常増減額は、63万円プラスの見込みである。法人税、住民税及び事業税については、10万円を計上している。

続いて指定正味財産増減の部、今年度は516万円を指定正味財産から一般正味財産へ振り替える。この結果、正味財産期末残高は463万円の減を見込んでいるが、後ほど説明する「減価償却費を除く現金収支」は1,200万円ほどの単年度黒字なので特に問題はないと考えている。

次に収支相償は、公益目的事業の当期経常増減額が6,641万円の赤字で条件を満たし、公益目的事業比率は、71.6%で、50%以上という条件をクリアしている。

続いて資金収支予算書の会館補修費積立資産取崩収入230万円は、会館補修に伴う積立の取崩し額である。昨年実施した会館補修の調査結果を再検討し、エレベーターの修繕、外部階段やフェンスのさび止め、新たに駐車場の照明設置等を行う。医療用機器購入積立資産取崩収入は、

30年度に救急医療用人体シミュレーター購入費用として全額を取り崩している。次にその他の財務活動支出はパソコンと会計ソフト一式のリース費用を加え173万円を計上している。

以上により、収支差額は1,207万円の増で、資金ベースでは単年度黒字を見込んでいる。

なお、今年度は収支に大きな影響を及ぼす借入れや重要な設備投資は予定していないことを報告し説明とさせていただく。

4 議 事

議案第1号 平成30年度宮崎県医師会収支決算に関する件

定款第62条の規定に基づき、吉田常任理事が、6月4日の第1回理事会で承認された収支決算の説明を行った。その後、監事を代表して、宮田純一監事から「令和元年5月30日、中村周治監事、小牧文雄監事と共に監査を実施し、出納正確で関係法令、定款等に従い違反等も認められず、関係書類等も整備され適正妥当と認めた」旨の監査報告が行われ、採決の結果、議案第1号は賛成全員で原案どおり可決承認された。

(要旨)平成30年度決算は前年度比で減収減益となったが、財務三基準といわれる収支相償、公益目的事業比率、遊休財産額の条件はすべて満たし適正な決算となっている。

経常収益、受取入会金の決算額は967万円、前年度比125万円の増で新規開業は17件であった。次に物品販売収益は手書き用カルテ等の印刷物販売業務を医師協同組合に移したため今期から0円。手数料収益の決算額は5,327万1,189円、前年度比1,390万円余りの減はグループ保険の事務費減と治験事業の案件減によるものである。受託事業等収益は1億2,252万4,778円、前年度比1,290万円余りの減で小児救急電話相談事業の委託が終了したことが主な要因である。雑収入の決算額は

1,941万7,094円、会員名簿の広告料収入等により340万円余の増となっている。以上、経常収益計は4億2,235万8,650円となった。

続いて、経常費用の職員人件費は、職員増により前年度比1,200万円余りの増となった。物品仕入は医師協同組合への業務移管により0円。続いて旅費交通費は、決算額3,369万3,295円で、受託事業終了と九医連担当県の変更等により460万円余りの減。支払利息は、決算額100万円で前年度比100万円余りの減。29年度に行った会館建設協力債の返済に伴う残高の減少によるものである。以上、経常費用計は3億9,912万7,130円となった。

経常収益から経常費用を差引いた、当期経常増減額(当期利益)は2,323万1,520円で、前年度比では約2,000万円の減となっている。ここから法人税額等を差引き、今期の増加分を合わせた最終的な正味財産期末残高は9億7,898万2,687円となる。

続いて正味財産増減計算書内訳表(グループ別)で収支相償を確認する。収支相償は2つ条件があり、1つ目は4つの公益目的事業がすべて赤字か±0というものであるが、当期経常増減額ですべて赤字となっていることを確認できる。

収益事業から公益目的事業への利益の繰入れの上限は、30年度も「50%超」を選択している。2つ目の条件は、利益の繰入れを行っても公益目的事業が赤字か±0というもので、収益事業からの繰入れ額2,209万193円、繰入れ後も2,600万円余りの赤字なので条件を満たしている。

正味財産増減計算書内訳表(会計別)の公益目的事業比率は70.82%で、50%以上という基準を満たしている。

次に貸借対照表の遊休財産の判定については、上限額が公益目的事業の経常費用額である2億8,267万2,762円を下回ったため適合と

なる。

収支計算書の役員退職慰労引当資産取崩収入は504万円で慰労金支出のために積立てを取り崩したものである。医療用機器購入積立資産取崩収入の500万円は救急医療用人体シミュレーター購入に伴う取り崩しになる。什器備品購入支出は、本会の基幹システム構築費用として30年度に687万円を支出する予定であったが完成が遅れているため次年度の支払いとする。会館建設債返済積立資産取得支出の1,000万円は会館建設債の返済に備えた積立である。以上により、当期収支差額は360万円余りで単年度黒字を確保している。また次年度への繰越額は1億4,300万円余りとなる。

議案第2号 令和2年度宮崎県医師会会費賦課徴収に関する件

定款第21条に基づき、吉田常任理事が、令和2年度についても会費賦課徴収規程等のとおり令和元年度と同様の会費を徴収したいとの説明が行われ、採決の結果、議案第2号は賛成全員で原案どおり可決承認された。

5 協 議

1) 長期連休中の休日加算の取扱いについて (30番 河野秀一代議員)

(質問) 今回の長期連休(GW10日間)において、東京都、神奈川県を含む他の地域では、在宅当番医指定以外でも、診療日に休日加算対応となったと聞いている。宮崎県医師会では協議等はなかったのか。在宅当番医以外で診療した医療機関も対応に苦慮している。

(回答:小牧常任理事) この問題は、各郡市医師会及び都道府県医師会の会長協議会で議論されてきた。ご質問の連休中の「休日加算」の算定については、今年1月に厚労省から「10連休等の長期連休における診療報酬等の取扱い」という文書が出され、各郡市医師会及びメーリング

リスト等を通じて会員にお知らせした。

その内容は「休日加算」等の取扱いは、10連休中も「従前どおり」とされており、日本医師会も「連休中、休日診療体制(在宅当番医等)に参加する医療機関は、休日加算の算定が可能だが、単に医療機関の判断のみで連休期間に診療を行っても、従前どおり休日加算の算定は不可」としている。

従って、医療機関の個々の判断で、診療応需体制をとっている場合には、在宅当番医や救急指定医療機関等を除き、算定できないということになる。また、この考えは「他の長期連休においても同様」とされている。

具体的な地域の状況は把握していない。

2) 外国人旅行者の医療機関受診について (17番 田口利文代議員)

(質問) 県が推進しているインバウンド(外国人旅行者)について、先日、都城の医師会病院で、外国人が交通事故で搬送されるという事例があった。幸い大きな問題にはならなかったが、近年、レンタカーを借りて個人的に観光する方も多く、中には旅行保険等に入っていない方もいると耳にする。我々が心配しているのは、外国人の診察を拒否することができないことである。言葉の問題に加え、医療費の単価や未払い、訴訟の問題等もある。行政は外国人旅行者を呼び込むことだけに力を入れているが、後は個々の医療機関の自助努力にということでは困る。県医師会が県の執行部と協議して、指針を示していただくと我々もありがたい。

(回答:金丸常任理事) ご指摘いただいたことが今喫緊の課題として全国で問題となっており、ましてや来年のオリンピックに備え日医も課題を整理している。現時点では、海外からの旅行者は積極的に

保険に加入することを、関係機関を通じて要請している。医療費については、まだ具体的な点数は絞られていない。日医も整理を急いでいるので、県医師会としても重要な課題と認識している。県とも協議して整理されたものをお示ししたいと考

えている。

6 議長閉会宣言

最後に河野会長から謝辞があり、議長の松本副議長が閉会を宣言し、第170回定例代議員会を終了した。

出席代議員及び出席役員は以下のとおり。

出席代議員

- 1 番 川名 隆司
- 2 番 市来 能成
- 3 番 牛谷 義秀
- 4 番 尾田 朋樹
- 5 番 弘野 修一※
- 6 番 栗林 忠信
- 7 番 神尊 敏彦
- 8 番 田中 俊正
- 9 番 中山 健
- 10番 成田 博実
- 11番 玉置 昇※
- 12番 原田 雄一
- 13番 増田 好治
- 14番 三宅 和昭
- 15番 済陽 英道
- 16番 田中 宏幸
- 17番 田口 利文
- 18番 檀原進一郎

- 19番 濱田 圭一※
- 20番 伊達 晴彦
- 21番 久保田秀紀
- 22番 佐藤 信博
- 23番 今田 真一※
- 24番 金井 一男※
- 25番 千代反田晋
- 26番 今給黎 承
- 27番 永友 和之
- 28番 松本 英裕
- 29番 中村 彰伸
- 30番 河野 秀一
- 31番 内村 大介
- 32番 高崎 直哉
- 33番 植松 昌俊
- 36番 中村 都英

出席34名 ※予備代議員

出席役員

- 会 長 河野 雅行
- 副 会 長 濱田 政雄
- ” 山村 善教
- 常任理事 吉田 建世
- ” 小牧 齋
- ” 荒木 早苗
- ” 金丸 吉昌
- ” 佐々木幸二
- ” 高村 一志
- ” 石川 智信
- 理 事 立元 祐保
- ” 峰松 俊夫
- ” 川野啓一郎
- ” 佐々木 究
- ” 岩村 威志
- ” 瀬ノ口洋史
- ” 赤須郁太郎
- ” 大塚康二朗

監 事 宮田 純一
出席19名

あなたできますか？(解答)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
d	a, e	e	a	a, d	a	e	b	b

令和元年度第76回宮崎県医師会総会

と き 令和元年6月15日(土)

ところ 県 医 師 会 館

小牧常任理事の司会により開会し、はじめに、物故会員の先生方に対し黙祷を捧げ弔意を表した。続いて、主催者である県医師会河野会長の挨拶、来賓祝辞、来賓紹介の後、各種表彰・祝賀の披露を行い閉会した。総会終了後には、同会場で懇親会を開催した。

◇物故会員（平成30年度総会以降）

井之上陸美 先生（宮 崎）
尾田 博 先生（宮 崎）
木佐貫健一 先生（宮 崎）
戸田 勝 先生（宮 崎）
橋口 兼達 先生（宮 崎）
前田 幸徳 先生（宮 崎）
三原 英三 先生（宮 崎）
村田 比 先生（宮 崎）
永野 由起 先生（都 城）
木下 道雄 先生（延 岡）
黒瀬 明治 先生（延 岡）
日高 隆徳 先生（延 岡）
高嶋 章 先生（児 湯）
前山 忠嗣 先生（児 湯）
宮崎 哲真 先生（児 湯）
山口 政仁 先生（児 湯）
圖師 鎮雄 先生（西 都）
後藤 幸一 先生（西臼杵）

※2名ご遺族の希望により非掲載

◇会長挨拶（要旨）

今日は、大変お忙しい中を河野俊嗣知事、山下博三県議会副議長、武井俊輔衆議院議員、松下新平参議院議員、長峯誠参議院議員、小山明俊県薬剤師会会長を始めとするご来賓の皆様にご出席いただきお礼申し上げます。

さて、我が県の地域医療は大変厳しい状態が

続いている。そのような中で、様々な医療介護問題の緊急手当てとして医療介護総合確保基金が大いに有効である。昨年は、全国でも4番目に多額の基金をいただくことができた。本日まで列席の知事や政治家の先生方のご尽力によるものと感謝申し上げる。本年度も要望しているので、引き続きお願いしたい。

また、宮崎県の地域医療における最大懸案の一つである医師確保に関しては、昨年度より新専門医制度が開始された。宮崎県での登録医数は、人口割から考えると80名近くになるものと期待していたが、結果は37名と驚愕する数字で、全国最下位であった。早速、日本医師会を通じて、専門医機構に地方にも配慮するよう是正を依頼し、本年度は52名となったが、まだまだ不十分である。県内の50歳以下の医師の割合は50%を下回り、このままでは10年後の我が県の地域医療は悲惨な状態になるものと危惧している。他県の情報も収集し、県、大学と協力して、今以上の対策を考える必要がある。さらに、育った臨床医が実力を充分発揮できる活躍の場を確保することも今後の課題である。

その他、医療を巡る情勢は大変厳しいものがある。根本原因は、国の税収が減り、経済的ゆとりがないことにある。少子高齢化が一因であることは言うまでもないが、地域社会衰退の大きな要素として、人口減少と同時に地域医療の崩壊が挙げられる。安心して社会生活を送るには、医療が不可欠である。私共、医療に携わる者の使命は、県民の健康を守ること、地域社会を守ることにある。私共の活動により県民が元気になれば、結果的に私達自身も恩恵を受けることに繋がる。

現代の社会において、このような我々の想いを実現するためには、ご来賓の皆様を始めとした行政、大学や関連団体との密接な連携が不可欠である。勿論、患者さんとの繋がりが第一であるが、政治の力は重要である。私共としても、政治家の先生方が心置きなく活躍できるよう全力を挙げてバックアップし、活躍の基盤をゆるぎないものとして確保する必要がある。特に、来月には参議院議員選挙がある。県医師連盟では、地方区に長峯誠先生を、全国区に羽生田俊先生を推薦しているの、会員の皆様のご協力をお願いしたい。

本日はこの後、県医療功労者知事表彰、永年勤続代議員表彰、会員医療機関永年勤続職員表彰、永年勤続医師会職員表彰、高齢会員および各種表彰祝賀の披露が予定されている。様々なご功績に対し、改めて敬意を表し心よりお祝い申し上げます。

最後に、ご来賓の皆様、ご参集の皆様方の今後ますますのご健勝とご活躍を祈念し、挨拶とさせていただきます。

◇来賓祝辞及び来賓紹介

河野 俊嗣 県知事
丸山裕次郎 県議会議員長（代理）
武井 俊輔 衆議院議員
松下 新平 参議院議員
長峯 誠 参議院議員
小山 明俊 県薬剤師会長
江藤 拓 衆議院議員（代理）
古川 禎久 衆議院議員（代理）

◇宮崎県医療功労者知事表彰

長嶺 元久 先生（宮 崎）
濟陽 英道 先生（宮 崎）
佐々木幸二 先生（都 城）
川名 修徳 先生（延 岡）
尾崎 峯生 先生（日 向）
坂田 師隣 先生（児 湯）
水田 能久 先生（西 都）
上記7名の先生方に対し、宮崎県医療功労

者知事表彰式が執り行われ、河野知事から表彰状と記念品が手渡された。

◇永年勤続代議員表彰

皆内 康廣 先生（宮 崎）

本会表彰内規により、10年以上の代議員歴及び満70歳に達した方を表彰するもので、上記1名の先生を表彰した。（総会ご欠席のため紹介のみ）

◇永年勤続職員表彰

県内会員医療機関に30年以上勤務し、地域医療に貢献された方を表彰するもので、本年度の対象者49名を代表して、姫野ひとみ様（黒瀬病院）に表彰楯を贈呈し、その後、姫野様より謝辞が述べられた。

◇永年勤続県医師会等事務職員表彰

県医師会等に30年以上勤務し、功労があった職員2名に対し表彰状等を授与した。

◇各種祝賀（高齢会員・各種表彰）

本会表彰内規により、喜寿・米寿をお迎えることになる高齢会員（米寿10名、喜寿22名）及び平成30年度総会以降、叙勲、大臣表彰、知事表彰等、県関係以上の各種表彰を受賞された32名の先生方を披露した。ご出席の高齢会員の先生方には、河野会長が席に出向き、お祝い金と記念品を贈呈した。続いて、各種表彰受賞者を代表して、大西雄二先生に記念品を贈呈し、その後、大西先生より謝辞が述べられた。

【高齢会員祝賀】

米寿会員 10名

（昭和7年1月1日～昭和7年12月31日生）

市来 齊 先生（宮 崎）
高木 研三 先生（宮 崎）
濱松 孝彦 先生（宮 崎）
美原 恒 先生（宮 崎）
山脇 忍 先生（宮 崎）
柳田 琢也 先生（都 城）
甲斐 文明 先生（日 向）
中林 永一 先生（西 都）

戸倉 修 先生 (南那珂)
澤田 惇 先生 (宮大医)

喜寿会員 22名

(昭和18年1月1日～昭和18年12月31日生)

市原 美宏 先生 (宮 崎)
川島謙一郎 先生 (宮 崎)
佐藤 仡子 先生 (宮 崎)
獅子目 輯 先生 (宮 崎)
弓削 孝雄 先生 (宮 崎)
湯田 鉄哉 先生 (宮 崎)
出水 善文 先生 (都 城)
大久保和治 先生 (都 城)
児玉 實志 先生 (都 城)
園田 光正 先生 (都 城)
泊 直十郎 先生 (都 城)
畠中 宏治 先生 (都 城)
藤元静二郎 先生 (都 城)
矢野 良英 先生 (都 城)
佐藤 靖美 先生 (延 岡)
長沼弘三郎 先生 (延 岡)
大久保史明 先生 (日 向)
康田 明照 先生 (日 向)
猿渡 義彰 先生 (南那珂)
出澤 亨 先生 (南那珂)
上田 集久 先生 (西 諸)
横瀬 琢男 先生 (西 諸)

【各種表彰】

(平成30年6月16日(土)総会以降～令和元年6月15日(土)総会まで)

平成30年7月5日

警察部外功労者表彰 (警察協力章)

大西 雄二 先生 (宮 崎)

平成30年9月6日

救急医療功労により県知事表彰

上田 孝 先生 (宮 崎)
飯田 正幸 先生 (都 城)
井上 博 先生 (延 岡)
鶴田 明土 先生 (西 都)

平成30年9月10日

救急医療功労により厚生労働大臣表彰

迫田耕一朗 先生 (宮 崎)

平成30年9月10日

産科医療功労により厚生労働大臣表彰

丸田 茂徳 先生 (都 城)

平成30年10月1日

国民健康保険関係功労により国保連合会中央会長表彰

橋口 典久 先生 (宮 崎)

松尾 剛志 先生 (宮 崎)

富田精一郎 先生 (延 岡)

平成30年10月13日

精神保健福祉事業功労により県知事表彰

高城 健司 先生 (都 城)

大喜多 博 先生 (延 岡)

友成 久雄 先生 (西 都)

平成30年10月15日

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

谷口 浩 先生 (南那珂)

平成30年10月18日

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

永友 淳司 先生 (児 湯)

川井田 繁 先生 (西 諸)

平成30年10月25日

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

竹田 一雄 先生 (都 城)

平成30年10月27日

全国学校保健・学校医大会日本医師会長表彰

故・黒瀬 明治 先生 (延 岡)

平成30年11月1日

公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰

故・日高 隆徳 先生 (延 岡)

平成30年11月3日

保健衛生功労により旭日双光章

中村 典生 先生 (宮 崎)

警察協力功労により瑞宝双光章

石井 芳満 先生 (都 城)

保健衛生功績により藍綬褒章

田中 洋 先生 (日 向)

平成30年12月26日

労働基準行政関係功勞により厚生労働省労働基準局長表彰

阿久根広宣 先生 (宮 崎)

平成31年 1月28日

公衆衛生事業功勞により県知事表彰

山内 良澄 先生 (都 城)

木下 義美 先生 (延 岡)

児玉 芳久 先生 (西 都)

平成31年 2月25日

公衆衛生事業功勞により日本公衆衛生協会会長表彰

小川 修 先生 (延 岡)

中島 昌文 先生 (南那珂)

平成31年 2月25日

公衆衛生事業功勞により厚生労働大臣表彰

石川 誠一 先生 (宮 崎)

令和元年 5月21日

学校保健功勞により瑞宝双光章

上山征史郎 先生 (西 都)

令和元年 6月15日

医療功勞により県知事表彰

長嶺 元久 先生 (宮 崎)

済陽 英道 先生 (宮 崎)

佐々木幸二 先生 (都 城)

川名 修徳 先生 (延 岡)

尾崎 峯生 先生 (日 向)

坂田 師隣 先生 (児 湯)

水田 能久 先生 (西 都)

お知らせ

第3回 生命を見つめるフォト&エッセー コンテスト概要



〈日程〉

【募集締切】

2019年10月3日(木) 必着

【入賞者発表】

2020年2月(予定)

【表彰式/記念パーティ】

2020年2月(予定)

【受賞作品新聞紙面掲載】

2020年3月(予定)

〈部門〉

フォト部門 エッセー部門

〈公式ホームページ〉

<http://inochi-photo-essay.com>

〈主催〉

日本医師会, 読売新聞社

〈お問い合わせ〉

03-3216-8606 (日本医師会)

第1回各郡市医師会長協議会

と き 令和元年6月25日(火)

ところ 宮崎観光ホテル

小牧常任理事の司会で開会し、報告及び協議に入った。

1 報告及び協議

1) 5/21(火)(日医)都道府県医師会長協議会について

河野会長が、各都道府県医師会及び日本医師会から提出された10の協議事項の要点について説明を行った。

- ①外来医療計画の策定について (三重県)
- ②厚労省指導の新たなシーリングについて (長崎県)
- ③へき地医療における医師の確保について (秋田県)
- ④行政提出文書のIT化について (滋賀県)
- ⑤医療介護人材確保のための有料職業紹介業者へ支払う紹介手数料について (神奈川県)
- ⑥ACPにおけるかかりつけ医の役割について (岡山県)
- ⑦これからのわが国におけるタバコ対策について (東京都)
- ⑧日本医師会会員情報システムについて (愛知県)
- ⑨地域枠・新専門医制度・働き方改革等、制度の渦中にある後期研修医へのサポートについて (徳島県)
- ⑩「第8回日本医師会赤ひげ大賞」推薦依頼について (日医)

2) 5/21(火)(日医)日本医師連盟執行委員会について

河野会長が、全国の支援状況等について要点の説明を行った。

3) 羽生田たかし先生の支援について

吉田常任理事が、日本医師連盟の文書をもとに「選挙期間中の活動展開」、「注意喚起」等について確認を行った。また、今回の選挙の厳しい状況を改めて訴えると共に、本県の獲得目標達成に向け最大限の努力をお願いした。

4) その他

①選挙運動に関連して飲食等の提供について (川名会長)

公示後、飲食を伴う例会がある。食事の前の挨拶の際、投票依頼を行って問題ないのか？

(事務局長)

近年、飲食の提供等に伴い連座制が適用されるケースが増えてきている。日本医師連盟も注意喚起の文書を出しており、極力、誤解を招くような行動や発言は避けていただきたい。

②外国人旅行者の医療提供について

(金丸常任理事)

6月の定例代議員会の際、田口会長からご質問いただいた件について、今年4月に厚労省から「外国人患者の受入れのための医療機関向けマニュアル」が発出されている。受入れ体制を整備する際の必要な情報が掲載されており、医療費概算の事例掲示等の説明もあるので参考にさせていただきたい。

(田口会長)

外国人の診察は、言葉の問題もあり労力と時間が何倍もかかる。現場は綱渡りのような診療を行っている。特に小規模の医療機関での対応は難しく、地域における

受入れ先等についても考慮していただきたい。

(鮫島会長)

宮崎大学医学部附属病院でも外国人を受け入れる。留学生と大学院生で、昼間については7～8か国語は対応が可能である。

③参議院議員選挙に関する投票済証の発行について (中村会長)

投票済証は、来所証明と名称が変わる場

合や、証明書の発行自体を行っていない所もある。そのような場合はどう対応すれば良いか。

(吉田常任理事)

投票済証の取扱いは、市町村の選挙管理委員会に委ねられており、対応がまちまちである。発行していない地域の取扱いについては、郡市医師連盟で対応を決めていただけるとありがたい。

出席者

各郡市医師会長

川名 (宮崎)・田口 (都城)・吉田 (延岡)・千代反田 (日向)・永友 (児湯)・松本 (西都)・中村 (南那珂)・内村 (西諸)・佐藤 (西臼杵)・鮫島 (宮大医) 会長

宮崎市郡医師会

済陽副会長、玉置理事、中山・楠元監事

南那珂医師会

河野副会長・川西理事

県医師連盟

増田副委員長・栗林・田中・成田・原田執行委員

県医師会

河野会長、濱田・山村副会長、吉田・小牧・池井・金丸・佐々木(幸)・高村・石川常任理事、立元・峰松・川野・佐々木(究)・岩村・米澤・帖佐・嶋本・園田・瀬ノ口・赤須・大塚理事

事務局

山内事務局長、竹崎次長、久永・松本・牧野課長、湯浅課長補佐、小川医師協同組合事務局長、杉田医師国保組合事務長心得

7月のベストセラー (宮崎県)

集計：2019年7月21日～7月25日

1	小説 天気の子	新 海 誠	KADOKAWA
2	ノーサイド・ゲーム	池 井 戸 潤	ダイヤモンド社
3	旅仕舞	佐 伯 泰 英	文 藝 春 秋
4	内臓脂肪がストーン！と落ちる食事術	江 部 康 二	ダイヤモンド社
5	年金だけでも暮らせます	荻 原 博 子	PHP 研究所
6	希望の糸	東 野 圭 吾	講 談 社
7	一切なりゆき	樹 木 希 林	文 藝 春 秋
8	「また会いたい」と思われる人	鹿 島 し の ぶ	三 笠 書 房
9	未来の地図帳	河 合 雅 司	講 談 社
10	70歳のたしなみ	坂 東 眞 理 子	小 学 館

日医インターネットニュースから

■14万人の医師対象に「実態調査」実施へ — 厚労省 —

7月5日の厚生労働省の「医師の働き方改革の推進に関する検討会」では、約14万人の医師を対象に新たに「医師の働き方実態調査」を行う計画が示された。医師の時間外労働の実態把握については、同検討会の前身の「医師の働き方改革に関する検討会」でも、2016年実施の厚生労働科学特別研究での調査に続く新たな調査を求める意見が出ていた。

厚労省が提示した調査案によると、調査は小池創一・自治医科大教授を研究代表者とする研究班が行う。このうち研究分担者の谷川武・順天堂大大学院教授が医師の働き方実態調査を担当する。実施期間は9月2～8日。調査票配布予定数は、施設票が1万9112施設、医師票が14万1880部。回答率のアップを目指してオンライン回答ページも設置し、インターネットでの回答を可能にする予定だ。

特に医師票での実態調査のメインとなる労働時間調査は、9月2日から1週間の労働時間について、主たる勤務先とそれ以外での診療業務と診療外業務、上司からの指示の有無、宿日直などを含め30分ごとの調査を行う。調査票は、施設情報に続いて離職、出産・育児などの設問を設けた後で、具体的な勤務実態を回答する構成。また、施設票は医師の確保・定着に関する取り組みや三六協定の締結の有無と締結内容、医師の労働時間の把握方法などについての設問となっている。

調査票案について、日医の今村聡副会長は「この調査は極めて重要な調査だが、回答者である医師の負担が多い調査票となっている。できるだけ多くの医師に回答してもらうためには現場の医師に必要性が伝わるメッセージを付けてもらいたい」と要望した。

(令和元年7月9日)

■診療しないことが正当化される事例 — 医療部会が応召義務で整理 —

厚生労働省は7月18日の社会保障審議会・

医療部会に、2018年度の厚生労働科学研究で実施した「医療を取り巻く状況の変化等を踏まえた医師法の応召義務の解釈に関する研究」

(主任研究者=岩田太・上智大法学部教授)の報告書を示した。診療しないことが正当化される具体的な事例を整理している。厚労省は報告書を踏まえ、医師法上の応召義務の考え方に関する解釈通知を、早ければ秋にも出すことを目指す。

応召義務は1948年に医師法第19条で「診療に従事する医師は、診察治療の求めがあった場合、正当な事由がなければ拒んではならない」と規定されたもの。3月に報告書をまとめた「医師の働き方改革に関する検討会」で主要な論点の一つだった。研究班は昨年9月の同検討会で中間報告し、応召義務が「実態としては医師の職業倫理規範を定めたもの」という考えを示していた。

今回の報告書では「どのような場合に医療機関・医師が患者を診療しないことが正当化されるか」について具体的に整理。最も重要な考慮要素を「患者の病状の深刻度」とし、さらに現代では「診察を求められたのが診療・勤務時間内か、時間外か」の観点と「患者と医療機関・医師の信頼関係」も重要な要素とした。

緊急対応の必要性ありで時間内の場合では、医師の専門性や、当該状況下での医療提供の可能性、他の医療機関による代替可能性などを総合的に勘案し「事実上診療が不可能といえる場合にのみ、診療しないことが正当化される」と記載。緊急対応の必要性ありで時間外の場合は「応急的に必要な処置を取るべきとされるが、原則、公法上・私法上の責任に問われることはないと考えられる」と言及。

緊急対応が不要な場合の時間内では「原則として必要な医療を提供する必要はあるが、緊急対応の必要があるケースに比べて正当化される場合は広く解釈される」とし、▽患者の迷惑行為▽医療費不払い▽入院患者の退院や他の医療機関の紹介・転院▽差別的な取り扱い—という個別事例ごとに整理。例えば迷惑行為では「従前の診療行為などにおいて生じた迷惑行為の態様に照らし、診療の基礎となる信頼関係が喪失

している場合には、新たな診療を行わないことが正当化される」としている。

緊急対応が不要な場合の時間外については「診療しないことに問題はない。他の診察可能な診療所・病院などを紹介するといった対応を取ることが望ましい」とした。

報告書は、応召義務を法律論として整理したもの。厚労省の吉田学医政局長は会合の席上「行政として発信する際、医師・患者関係における思いや医療関係者の職業倫理、矜持など、正しくメッセージが伝わるよう留意、工夫する」と述べた。(令和元年7月23日)

■ 「医政活動を抜本的に見直す」

一 参院選の結果受け、横倉会長 一

横倉義武会長（日本医師連盟委員長）は7月24日の会見で、今後の医政活動を抜本的に見直す」と表明した。

21日に投開票された参院選では、組織内候補で自民党現職の羽生田俊氏が15万2807票を獲得して当選したが、6年前の選挙から大きく票を減らす結果となった。横倉会長は日医連と、都道府県ごとの医連で今回の選挙を分析した上で、若手医師へのアプローチや地方議会議員への働き掛けなどを強めると打ち出した。

横倉会長は「羽生田氏が2回目の選挙ということで、われわれにも会員にも気の緩みがあり、厳しい状況を徹底することが大変だった」と総括した。社会保障関係者が多数立候補し、従来確保していた票が他の候補に流れたことや、参院選全体の投票率の低下、票田の九州が大雨に見舞われたことなども伸び悩んだ要因として挙げた。

次世代の医療を担う医師らへの訴えが十分でなかったことも反省点に挙げた。「現在の状況をそのまま継続するということだけに政策が偏

りすぎていたのかもしれない。医療改革が行われている中で、次の世代が医療をやりやすいように変えていかないといけない。そういう主張が必要だった」と述べた。今後は「日医の考え方を若手医師に一方的に理解してもらうのではなく、医療現場で活躍する若手医師の意見を吸い上げていく組織へ変えていこうと考えている」と述べた。

加えて、「地方議員に医療の問題点を共有してもらうことが大切だ」と強調し、地域医師会と地方議会議員の日常的な連携体制を構築していくとした。

● 「政治の中の医療代表は医師会代表候補」

自民党内の医療関係職種組織内候補では、日本看護連盟が擁立した石田昌宏氏、日本薬剤師連盟が擁立した本田顕子氏に続く3番目の得票数となった。今後の2020年度診療報酬改定や「骨太の方針2020」に向けた議論への影響については「政治の中で医療の代表は医師会、医師会の代表である候補者」と認識を示し、「改定財源をいかに確保するか、厳しい戦いをしなければいけないと思っている」と述べた。

石田氏とは「日ごろから密に連携しながら取り組んでいる」とした一方、本田氏については「上に行かれたことがどう影響するか。(改定に向けて)調剤技術料が過大ではないか、調剤薬局の過剰な利益を社会保障に還元するようなことを考えていかないといけないと言っている。その点は薬剤師会とよく話し合いをしたい」とした。

参院選全体では、与党からは古川俊治氏や武見敬三氏、尾辻秀久氏、野党からは小池晃氏や梅村聡氏ら社会保障に造詣が深い議員が当選したと評価し、「よりよい社会保障実現のために手を携えて、協力していきたい」と述べた。

(令和元年7月26日)

日医インターネットニュースは、日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。

日本医師会 (<http://www.med.or.jp/>) >メンバーズ>日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）

◆パスワード：生年月日の「西暦の2桁，月2桁，日2桁」の6桁の数字（半角）



令和元年6月4日(火) 第3回全理事協議会

医師会関係 (議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免1名(県医のみ)が承認された。

2. 県医師会役員等報酬支給について

県医師会役員等報酬等規程に基づき役員等報酬を支給することが承認された。

3. 6/22(土)・23(日)(東京)九州ブロック日医代議員連絡会議懇親会の開催について

6月23日(日)の日医定例代議員会の前日に開催される懇親会で、河野会長、濱田・山村副会長、吉田常任理事の4名が出席することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①第11回全国医師会事務局連絡会研修会の後援及び職員派遣等について

→医師会の職員等を対象に「医師会業務効率化のためのシステム(仕組み)づくり」をテーマに開催する研修会で、名義後援を行うことが承認された。また、職員の派遣については、会長と事務局長に一任することとなった。

②第14回九州・沖縄臨床工学会名義後援について

→九州各県の臨床工学技士が集い、職業倫理の高揚と学術・技能の研鑽及び資質向上や臨床工学領域における普及発達を目的に開催される学会で、名義後援を行うことが承認された。

5. 本会外の役員等の推薦について

①「宮崎県高齢者サービス総合調整推進会議」委員の推薦について

→高齢者に係る福祉・保健・医療サービスの調整と総合的推進を図るために設置される会議で、委員の推薦依頼があり、石川常任理事を推薦することが承認された。

6. 6/27(木)(JA-AZM)九州厚生局及び宮崎県による社会保険医療担当者の新規個別指導の実施に係る立会について

6医療機関を対象に行われる新規個別指導で、荒木常任理事を立会人として派遣することが承認された。

7. 6/15(土)(県医)県医師会総会等諸行事について

県医師会定例代議員会及び総会等について、スケジュールと進行の最終確認が行われた。

8. 業務委託について

①生活習慣病検診従事者研修事業に係る業務の委託契約について

→特定健康診査・特定保健指導、胃・子宮・肺・乳・大腸がん検診に従事する医療関係者の資質向上を目的に、研修会を開催する事業で、契約を締結することが承認された。

②健やかな心と体を育む健康教育推進事業「専門医による性に関する相談事業」の

委託契約について

→児童生徒，教職員及び保護者等を対象に，10代の人工妊娠中絶，性感染症，性の逸脱行動等の諸問題を解決するために行われる専門医の相談事業等で，契約を締結することが承認された。

9. 「2019年度地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会」の受講申込みについて

「地域包括診療加算」，「地域包括診療料」の施設基準となっている“慢性疾患の指導に係る適切な研修”に該当する研修会で，テレビ会議による動画配信を受け，全会員に案内することが承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 5月末日現在の会員数について
3. 5/31(金) (総合保健センター) 県医療介護推進協議会について
4. 5/31(金) (総合保健センター) 県医療審議会について
5. 6/1(土) (鹿児島) 九医連常任委員会について
6. 6/1(土) (鹿児島) 九州ブロック日医代議員連絡会議について
〔河野会長・濱田副会長・山村副会長・吉田常任理事・峰松理事〕
7. 6/4(火) (県医) 県学校保健会理事・評議員会について
8. 6/4(火) (県医) 学校保健・学校安全に係る表彰審査会について
9. 6/4(火) (県医) 治験審査委員会について
10. 5/31(金) (日医) 日医医療秘書認定試験委員会について
11. 6/2(日) (福岡) 日本プライマリ・ケア連

合学会九州支部役員会について

12. 6/4(火) (宮大医学部) 医師キャリア形成及び宮崎県地域医療の充実に向けた関係者協議について
13. 5/29(水) (日医) 日医小児在宅ケア検討委員会について
14. 5/29(水) (宮大医学部) 宮大医学部医の倫理委員会について
15. 5/29(水) (宮崎労働局) 労災診療指導委員会について
16. 6/3(月) (県医) 勤務医部会理事会について
17. 6/3(月) (県医) 旧優生保護法に関する県との協議について
18. 6/1(土) (日医) 日医医師会将来ビジョン委員会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会関係
(報告事項)

1. 5/30(木) (県医) 医協理事会について

医師連盟関係
(議決事項)

1. 6/15(土) (県医) 県医師連盟執行委員会について
2. 平成30年度県医師連盟会務報告について
県知事及び県議会議員選挙並びに次期参議院議員通常選挙への対応等を含めた事業を，6月15日に開催される執行委員会で報告することが承認された。
3. 平成30年度県医師連盟収支決算について
収入合計3,007万750円，支出合計3,280万2,084円，次期繰越収支差額4,135万6,864円からなる決算を，6月15日に開催される執行委員会に上程することが承認された。
4. 令和2年度国・県に対する要望について
要望については，昨年の項目をメール等で確認し，再度協議することが承認され

た。またヒアリングについては、河野委員長に加え濱田・山村常任執行委員が出席する方向で調整することとなった。

(報告事項)

1. 6/2(日)(県医)総合確保基金長峯参議院議員への要望について

令和元年6月18日(火) 第5回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 職員の夏季手当支給について

県医師会職員給与規程等に基づき、宮崎県人事委員会の勧告及び決算等諸状況を参考に、期末・勤勉手当を支給することが承認された。

2. 管理職調整手当(令和元年6月)の支給について

管理職調整手当の支給に関する規程に基づき、期末・勤勉手当に併せて支給することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県准看護師試験委員の推薦について

→担当業務及び諸状況を勘案の上、荒木常任理事に替わり、大塚理事を推薦することが承認された。

②宮崎県訪問看護推進協議会の委員の推薦について

→訪問看護事業の円滑かつ効果的な推進を図るために設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、池井常任理事を推薦することが承認された。

③宮崎県介護支援専門員スキルアップ事業における宮崎県介護支援専門員研修向上委員会の委員等の推薦について

→介護支援専門員に係る研修の企画等を行うと共に主任介護支援専門員を養成するためのカリキュラム等を検討する委員会で、委員及び作業部会委員に、県医師会介護保険委員会の牛谷義秀委員長を推薦することが承認された。

④宮崎県地域医療対策協議会委員等の推薦について

→医師確保の推進や関係機関との連携を通じて、県内の地域医療提供体制の整備充実を図ることを目的に設置される協議会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、協議会の委員に河野会長、幹事会の幹事に金丸常任理事を推薦することが承認された。

⑤宮崎県麻薬中毒審査会委員の推薦について

→麻薬の乱用による保健衛生の危害を防止すると共に公共の福祉の増進を図ることを目的に設置される審査会で、任期満了に伴う推薦依頼があり、再任の方向で現委員の意向を確認することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

①9/28(土)(宮崎市民文化ホール)「2019年度第7回宮崎県輸血懇話会」における名義後援について

→適正な輸血医療の推進と血液事業の活性化を図ることを目的に、輸血に携わる医療従事者を対象に開催される懇話会で、名義後援を行うことが承認された。

②10/26(土)(延岡総合文化センター)第59回宮崎県精神保健福祉大会の後援について

→心身の健康の保持増進に努めると共に地域社会における精神保健福祉の

向上を図ることを目的に、「つながり ささえあい ところ豊かに生きる」をテーマに開催される大会で、名義後援を行うことが承認された。

③11/16(土)・17(日) (宮崎市民プラザ) 第6回地域回想法サミットin宮崎名義後援のお願いについて

→主催及び内容等の確認のため一時保留し、関係情報を入手後、再度検討することとなった。

④11/16(土)・17(日) (宮大) 第15回清花祭清武キャンパス医学展の名義後援について
→宮崎大学の学園祭(清花祭)に併せ、医学部の学生が医学・医療に関する展示発表を行う医学展で、名義後援を行うことが承認された。

5. 産科医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり、地域のお産を支え、我が国の産科医療の推進に貢献してきた産科医等に贈られる表彰で、1名を推薦することが承認された。

6. 令和元年度救急医療功労者の厚生労働大臣表彰候補者の推薦について

多年にわたり地域の救急医療の確保、救急医療対策の推進に貢献した医師等に贈られる表彰で、1名を推薦することが承認された。

7. 令和元年度救急医療事業功労者の知事表彰候補者の推薦について

救急医療対策の推進等、救急医療の確保に貢献した医師等に贈られる表彰で、1団体と4名を推薦することが承認された。

8. 6/25(火) (宮観ホテル) 各都市医師会長協議会について

当日のスケジュール及び提出議題等の確

認が行われた。

9. 7/2(火) (宮観ホテル) 令和元年度県医師会と県福祉保健部・病院局との意見交換会の開催について

当日のスケジュール及び提出議題等の確認が行われた。

10. 7/13(土)・14(日) (嬉野市) 九州医師会連合会第377回常任委員会の開催について

九医連の担当が7月から佐賀県医師会に替わり、初めて開催される常任委員会で、河野会長と奥様、加えて事務局長が出席することが承認された。また提出議題等については、河野会長に一任することとなった。

11. 九州医師会連合会令和元年度第1回各種協議会の開催種目について

近年、継続して「地域医療」・「医療保険」・「介護保険」の3つの対策協議会が開催されているが、開催種目の取扱いについては、担当の佐賀県医師会に一任することが承認された。

12. 6/25(火)・26(水) (宮崎市) 社会保険医療担当者の監査の実施に係る立会について

1医療機関を対象に行われる監査で、事前に調整の結果、25日は宮崎市郡医師会の白尾一定理事、26日は立元理事を立会人として派遣することが承認された。

13. 7/11(木) (JA-AZM) 新規集団指導の実施について

7医療機関を対象に開催される新規集団指導の後、県医師会主催で医師会の活動をテーマにした説明会を行うことが承認された。

14. 9/7(土) (岡山市) 第69回全国医師会医療秘書学院連絡協議会定例総会の開催について

医療秘書学院を設置する都道府県医師会

をもって組織される協議会で、池井常任理事の出席が承認され、河野会長の参加については再調整することとなった。

15. 8/3(土)・4(日)(大分市)第63回九州ブロック学校保健・学校医大会並びに令和元年度九州学校検診協議会(年次大会)について

「地域で取り組む健康教育～どうするが
ん教育 学校医へのアプローチ～」をメ
インテーマに開催される協議会で、本会
から河野会長、高村常任理事、高木純一
先生、宮田純一先生、澤田浩武先生の出
席と、各郡市医師会を通じて会員に案内
することが承認された。

16. 令和元年度県立学校医等に係る報酬基準額について

県立高等学校、特別支援学校等への学校
医報酬で、基本額、内科の管理指導費、
検診料等の基準額が承認された。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 6/9(日)(東京)全国有床診療所連絡協議会常任理事会・役員会について
3. 6/10(月)(県医)県アイバンク協会理事会について
4. 6/12(水)(支払基金)支払基金幹事会について
5. 6/18(火)(県婦人会館)県移植推進財団評議員会について
6. 6/7(金)(日医)日医公衆衛生委員会について
7. 6/7(金)(県医)県医医学会役員会について
8. 6/15(土)(県医)県医定例代議員会について
9. 6/15(土)(県医)県医総会について
10. 6/12(水)(県医)広報委員会について
11. 6/10(月)(宮観ホテル)病院部会・医療法人部会総会について

12. 6/12(水)(日医)都道府県医師会医師偏在対策・働き方改革担当理事連絡協議会について

13. 6/6(木)(宮大医学部)宮大医学部附属病院マッチング説明会&県内基幹型臨床研修病院説明会について

14. 6/7(金)(東京)地域医療構想アドバイザー会議について

15. 6/13(木)・14(金)(東京)Health Professional Meeting (H20) 2019について

16. 6/6(木)(日医)日医産業保健委員会について

17. 6/8(土)(県医)産業医研修会について
医師連盟関係
(議決事項)

1. 6/25(火)(宮観ホテル)参議院議員羽生田たかし先生国政報告会について

羽生田たかし先生の来県に合わせ、各郡
市医師連盟委員長協議会の前に開催する
国政報告会について、次第及び役割分担
の最終確認が行われた。

2. 7/13(土)(嬉野市)九州医連絡会第28回
常任執行委員会の開催について

佐賀県医師連盟が担当する九州医連の常
任執行委員会で、河野委員長が出席する
こと及び提出議題等については河野委員
長に一任することが承認された。

3. 7/16(火)羽生田たかし選挙カーの運行について

選挙期間中、全国で2台配備される選挙
カー(羽生田候補は未乗車)について、7
月16日に本県に入り、同日大分県に向か
う予定であることから、各郡市医師連盟の
協力を得て、同乗者を確認すると共に行程
表を作成していくことが承認された。

(報告事項)

1. 6/8(土) (都城古川事務所) 総合確保基金古川衆議院議員への要望について
2. 6/18(火) (県議会事務局) 山下寿県議への羽生田後援会支援依頼について
3. 6/15(土) (県医) 県医連執行委員会について

令和元年5月28日(火) 第2回全理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 会費減免申請について

高齢による会費減免2名(日医のみ)と臨床研修医109名(1年次53名, 2年次54名)の会費減免(日医・県医)が承認された。

2. 本会外の役員等の推薦について

①宮崎県献血推進協議会委員等の推薦について

→献血への理解と血液事業の適正な運営を目的に設置される協議会で, 任期満了に伴う推薦依頼があり, 引き続き峰松理事を推薦することが承認された。

3. 後援・共催名義等使用許可について

①第40回全国デイ・ケア研究大会2019in宮崎
→通所リハビリ及び通所介護施設の質の向上を目的として, 「地域のひなたづくり～希望を紡ぐ通所サービスをめざして～」をテーマに開催される研究大会で, 名義後援を行うことが承認された。

②「第31回宮崎県糖尿病教育セミナー」の後援について

→糖尿病発症の予防・治療・合併症の進展防止等の知識習得を目的に開催されるセミナーで, 名義後援を行うこ

とが承認された。

4. 業務委託について

①医療勤務環境改善支援センター事業に関する業務の委託契約について

→計画的に勤務環境の改善に取り組む医療機関に対して, 総合的な支援体制を構築することを目的とする事業で, 委託契約を締結することが承認された。

②医師養成・確保支援事業に関する業務の委託契約について

→医師の養成・確保を図ることを目的に, 県外医師との交流会, 若手キャリアプラン講演会, 医師確保研修支援, 医療人財早期育成, 臨床研修・専門研修等研修会, 臨床研修指導医養成, 臨床研修病院説明会等を行う事業で, 委託契約を締結することが承認された。

③女性医師等就労支援事業に関する業務の委託契約について

→本県の医師確保を目的に, 女性医師等が仕事と家庭の両立を図り, 医師として働き続けられる環境作りを支援する事業で, 契約を締結することが承認された。

④HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)母子感染対策事業に係る業務の委託契約について

→HTLV-1キャリアや発病者に対する適切な診療と相談支援体制の整備を図ることを目的とする事業で, 契約を締結することが承認された。

⑤家族計画及び避妊指導に関する調査研究事業に係る業務の委託契約について

→望まない妊娠の防止や家族計画・避妊

指導の充実を目的に、実態調査やパンフレットの作成を行う事業で、契約を締結することが承認された。

5. 7/6(土)(京都)「臨床研修屋根瓦塾KYOTO」の開催について

若手先輩医師が作成した症例シナリオに、他施設の臨床研修医がチームを組んで挑む企画で、県臨床研修・専門研修運営協議会が推薦する医師1名と金丸常任理事がオブザーバーとして参加することが承認された。

6. 7・8月の行事予定について

7月の追加行事の確認が行われた。

(報告事項)

1. 週間報告について

2. 6/22(土)(東京)九州ブロック日医代議員連絡会議懇談会について

3. 6/23(日)(日医)九州ブロック日医代議員

連絡会議について

4. 6/23(日)(日医)日医定例代議員会について

5. 6/23(日)(千葉)レジナビフェアについて

6. 6/20(木)(県医)園医部会理事会について

7. 6/22(土)(県医)県小児科医学会子ども健康セミナーについて

8. 6/24(月)(県医)宮崎市郡医師会予防接種勉強会について

9. 6/23(日)(県医)人体シミュレータを用いた在宅医療研修会について

医師協同組合理事・運営委員合同協議会関係(報告事項)

1. 6/25(火)(宮観ホテル)医協理事会について 医師連盟関係

(報告事項)

1. 6/25(火)羽生田たかし参議院議員県南・県西地区訪問について

お知らせ

令和元年度日本医師会認定医療秘書養成制度 卒業生求職のお願い

宮崎県医師会では、日本医師会認定医療秘書養成を県内3教育機関に委託しております。日本医師会医療秘書認定試験の合格を目指し、医療事務に必要な知識、最新の情報処理技能などの資格を備えるとともに、医療機関の今日的な使命を自覚し、誠実さと思いやりの心を大事にする人間形成にも力を入れています。

今年度、医療事務職員採用のご予定がございましたら、何卒、県内3教育機関からご採用いただきますようご検討をお願いいたします。

なお、求職に関するお問い合わせ等につきましては、直接各教育機関の担当者までご連絡くださるようお願い申し上げます。

宮崎学園短期大学 (宮崎市)	宮崎医療管理専門学校 (宮崎市)	都城コアカレッジ (都城市)
就職希望者20名 (男1名, 女19名)	就職希望者16名 (男1名, 女15名)	就職希望者5名 (女5名)
連絡先: TEL0985-85-0146 宮崎市清武町加納丙1415 担当: 田村 広美 武村 順子	連絡先: TEL0985-86-2271 宮崎市田野町甲1556-1 担当: 福元 進 崎田ゆかり	連絡先: TEL0986-38-4811 都城市吉尾町77-8 担当: 吉原真由美 谷山真菜己

県 医 の 動 き

(7月)

2	第5回全理事協議会（会長他） 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会（会長他）	16	治験審査委員会（荒木常任理事他） 第6回常任理事協議会（会長他）
4	長峯誠候補必勝祈願祭・出陣式	17	みやざき子育てサポート事業サポート会員養成講座（荒木常任理事） 宮崎市郡医師会7月例会並びに特別講演会（会長）
5	（佐賀）九州各県保健医療福祉主管部長・九州各県医師会長合同会議（会長） 宮崎県糖尿病・慢性腎臓病（CKD）対策検討会（金丸常任理事）	18	（東京）日医医師会将来ビジョン委員会AIに関する勉強会（大塚理事） 長峯誠候補個人演説会
6	（京都）臨床研修屋根瓦塾KYOTO（金丸常任理事） 県外科医会理事会 県整形外科医会理事・評議員会 県整形外科医会総会 県外科医会総会（岩村理事） 労災部会総会（会長他） 県外科医会・県整形外科医会・労災部会合同学会（会長他）	20	（福岡）九州医師協同組合連合会購買・保険部会（小牧専務理事）
6/7	（佐賀）九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会	21	人体シミュレータを用いた在宅医療研修会（石川常任理事）
7	（大阪）レジナビフェア（金丸常任理事） （福岡）全国有床診療所連絡協議会九州ブロック役員会（会長）	22	県精神科救急医療システム連絡調整委員会（吉田常任理事他） 広報委員会（荒木常任理事他） 医師国保組合通常組合会（秦理事長他）
9	県地域医療対策協議会（会長他） 県総合政策部との意見交換会（会長他）	23	医協理事会（河野理事長他） 第7回常任理事協議会（会長他）
10	女性医師交流会（荒木常任理事） 支払基金幹事会（会長） 広報委員会（荒木常任理事他） 県有床診療所協議会役員会（会長他）	24	（日医）日医小児在宅ケア検討委員会（高村常任理事）
11	社会保険医療担当者（医科）の新規集団指導 県産婦人科医会常任理事会（嶋本理事） 新規保険医療機関への説明会（会長他）	25	（日医）マスギャザリング災害対策セミナー（佐々木常任理事） 社会保険医療担当者の新規個別指導（金丸常任理事） （日医）日医予防接種・感染症危機管理対策委員会（峰松理事） 県ジェネリック医薬品安心使用促進協議会（金丸常任理事）
12	（日医）日医勤務医委員会（金丸常任理事） （日医）日医医師会共同利用施設検討委員会（山村副会長） 医師国保組合理事会（秦理事長他） （長峯選挙事務所）長峯候補陣中見舞い（会長）	26	自民党県連団・県に対する要望ヒアリング（河野委員長他） （東京）九州各県アイバンク連絡協議会・全国アイバンク連絡協議会 県自殺対策推進協議会（吉田常任理事） 更新時集団指導（TV会議）
13	県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会 県認知症高齢者グループホーム連絡協議会総会・研修会 （佐賀）九医連常任委員会（会長） （佐賀）九州医連連絡会常任執行委員会 日本柔道整復師会九州学会宮崎大会開会式・前夜祭（濱田副会長）	27	（群馬）全国有床診療所連絡協議会常任委員会（会長） （群馬）全国有床診療所連絡協議会役員会（会長） （宮城）男女共同参画フォーラム（荒木常任理事他）
14	（佐賀）九医連常任委員会視察（会長）	27/28	（群馬）全国有床診療所連絡協議会総会・講演会（会長他） （広島）中四九地区医師会看護学校協議会（佐々木常任理事）
16	（宮崎・延岡・日向・児湯）羽生田たかし選挙カー宮崎県内巡回（吉田常任執行委員） 県後期高齢者医療広域連合運営懇話会（石川常任理事）	29	宮大医学部カリキュラム委員会（金丸常任理事）
		30	県がん診療連携協議会（会長） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（小牧常任理事） 九医学準備委員会（会長他）
		31	労災診療指導委員会（川野理事）

医師国保組合だより

～保健事業について～

医師国保組合では、次のとおり保健事業を実施しております。請求方法等の詳細は、組合員宛に送付しております「保健事業の案内」または、当組合ウェブサイトをご覧ください。

※実施期間及び接種期間：令和2年3月末日まで

1	健康診断	4	脳ドック等の補助
2	胃・大腸内視鏡検査の補助	5	肺炎球菌ワクチン接種補助
3	低線量ヘリカルCT肺がん検診	6	歯科健康診査

★特定検診

特定健診対象者（40歳から74歳までの方（75歳になる方は誕生日の前日まで））につきましては、健診結果の提出が当組合の特定健診受診の実績にもつながります。受診率向上についても併せてご協力をお願いします。

※自家健診で実施した場合も実績となります。

既に健診を受けられた方は、健康診断個人票（黄緑色）に記入・捺印の上、健診結果のコピーを添付して提出してください（結果を転記されなくても結構です）。

※宮崎市郡医師会成人病検診センターにて日曜日に集団健診を実施しています。但し、子宮頸がん検診は実施できません。（予約は当組合にお電話ください）

①実施日：

令和元年9月29日（胃部内視鏡検査は定員に達しました）

10月20日（胃部内視鏡検査は定員に達しました）

令和2年1月19日，2月2日，2月16日，3月1日

②定員：各30名

★日曜日の胃部内視鏡検査について（令和元年度より実施）

※実施人数：1日5名まで（人数や検査状況によりですが，午前中には終了します）

※申込受付は先着順です。お申込みはお早目をお願いします。例年，特に年明け以降はお申込みが大変多くなっておりますので，なるべく年内の日程をおすすめします。

<健康保険適用除外申請の手続きについて>

医師国保に既にご加入の方は，事業所が法人化する等で健康保険の適用となる場合でも，健康保険適用除外の承認を受けることにより，引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは，事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので，まずは当組合までお問い合わせください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL：0985-22-6588 FAX：0985-27-6550

※各種申請書は，当組合ウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/>

ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

令和元年 7 月 5 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申し込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

1. 求職者登録数 6人

1) 男性医師求職登録数 6人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	2	2
麻酔科	1	0	1
老年健	1	1	0

2) 女性医師求職登録数 0人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

2. 斡旋成立件数 73人 (人)

	男性医師	女性医師	合計
令和元年度	2	1	3
平成16年度から累計	52	21	73

3. 求人登録 96件 357人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤	募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	103	80	23	消化器外科	4	2	2
外科	30	24	6	乳腺外科	3	3	0
整形外科	30	24	6	健診	8	5	3
精神科	14	13	1	泌尿器科	4	2	2
脳神経外科	12	8	4	産婦人科	1	1	0
循環器科	11	8	3	検診	3	1	2
消化器内科	16	13	3	皮膚科	5	2	3
麻酔科	16	12	4	婦人科	2	2	0
眼科	10	7	3	呼吸器外科	4	3	1
放射線科	12	11	1	人工透析	7	5	2
小児科	4	2	2	リウマチ科	1	1	0
呼吸器科	3	3	0	臨床病理科	1	1	0
在宅診療	2	2	0	形成外科	2	1	1
総合診療科・内科	5	4	1	診療科目不問	3	3	0
神経内科	8	6	2	緩和ケア	1	1	0
呼吸器内科	10	9	1	内分泌糖尿病内科	2	2	0
リハビリテーション科	4	4	0	その他	7	6	1
救命救急科	9	9	0	合計	357	280	77

求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	赤十字センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)プレストピアプレストピア宮崎病院	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理, 乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内分泌内,呼内,リウ, 神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎生協病院	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急, 緩和	13	常勤
230148	医)コムロ美容外科	宮崎市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230175	社会福祉法人 キャンパスの会	宮崎市	内,小,整(いずれか)	1	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放(いずれか)	1	常勤
230178	介護老人保健施設 むつみ苑	宮崎市	内	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮崎市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230184	グリーンケア学園木花台	宮崎市	内	1	非常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	非常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	内,放,脳外,外,眼,透,皮,腎内	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤

登録番号	施設名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230162	藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	外	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都城市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都城市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都城市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延岡市	外,整,放,内	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	4	常勤・非常勤
190086	早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延岡市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,麻	3	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国保病院	都農町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内	1	常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 日南春光会病院	日南市	外,内	4	常勤・非常勤
230198	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	2	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,外(いずれか)	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和元年 7 月 5 日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番 土地のみ：2,022.17㎡ (612.77坪)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
	② 西都市中央町2丁目6番地 土地：2,280.83㎡ (691.16坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 1階 674.74㎡ } 2階 547.79㎡ } 1,400.48㎡ (424.38坪) 3階 177.95㎡ } ※別途駐車場あり (20台)	所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡
	③ 小林市細野59-1 土地：1,098.23㎡ (322.79坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 188.00㎡ } 2階 96.00㎡ } 284.00㎡ (86.06坪) ※駐車場あり (29台)	所有者：西諸医師会員 (医) 桑原皮膚科医院跡
2. 譲渡又は 賃貸物件	① 小林市南西方49番地1 土地：1,991.34㎡ (603.43坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根2階建 1階 471.41㎡ } 2階 638.35㎡ } 1,109.76㎡ (336.29坪) ※駐車場あり (30台)	所有者：(医) 社団 産婦人科 生駒クリニック跡
	② 児湯郡川南町大字平田1402-74 土地：4,449㎡ (1,348.18坪) 建物：鉄骨セメント造平屋建 1階 825.66㎡ (250.20坪) ※駐車場あり (70台)	所有者：児湯医師会員 (医) 崧雲会 林クリニック
3. 賃貸物件	① 延岡市無鹿町1丁目710 土地：1,654.58㎡ (501.38坪) 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根4階建 1階 145.76㎡ } 2階 338.70㎡ } 829.40㎡ (251.33坪) 3階 330.69㎡ } 4階 14.25㎡ } ※駐車場あり (50台)	所有者：(医) 社団 隆豊会 江崎医院跡
	② 西臼杵郡高千穂町大字上野264番地 土地：875㎡ (265.15坪) 建物：木造瓦葺平屋建 1階 114㎡ (34.54坪) ※駐車場あり (20台)	所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の9時～12時及び13時～17時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

ドクターバンク無料職業紹介所

〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail : isikyoun@mizazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

日州医事では、読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や、読みたい記事のご提案など、忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお、いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は、このページを切り取り、裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和元年 7 月 29 日

8		月		
1	木	13：30 社会保険医療担当者の個別指導 15：00 県地方独立行政法人評価委員会 16：00 社会保険医療担当者の新規個別指導 19：00 宮崎の医療を考える会（若手記者と広報委員会との懇談会） 19：00 小児在宅医療についての打合せ会 19：00 労災部会自賠委員会 19：45 損害保険医療協議会	17 土 15：00 （熊本）九州地区医師国保組合連合会監査会 15：30 （熊本）九州地区医師国保組合連合会理事会 16：00 （熊本）九州地区医師国保組合連合会全体協議会	国 保 審 査
		18 日		
2	金	15：00 （日医）日医公衆衛生委員会 18：00 胃内視鏡検診二重読影体制に係る打合せ	19 月 19：00 医師国保組合理事会 19：00 医学会誌編集委員会	
3	土	15：00 （大分）九州学校検診協議会専門委員会 16：00 （大分）九医連常任委員会 17：00 （大分）九州学校検診協議会幹事会 18：00 （大分）九州各県学校保健担当理事者会	20 火 19：00 第9回常任理事協議会	↓
		21 水 19：00 広報委員会		
4	日	9：00 （大分）九州ブロック学校保健・学校医大会/九州学校検診協議会 12：30 （大分）九医連学校医会評議員会・総会	22 木 13：00 社会保険医療担当者の個別指導 14：00 保育事業養成講座	↑
		23 金 17：30 地域医療構想に関する研修会～療養病床の転換の選択肢としての介護医療院について～（TV会議）		
5	月	13：30 県総合計画審議会及び県地方創生推進懇話会 19：00 県内科医会理事会	24 土 16：00 各郡市医師会・医師国保組合各支部等職員事務研修会 16：00 （日医）日医医師会将来ビジョン委員会	社 保 審 査
		18：00 治験審査委員会 19：00 第8回常任理事協議会		
6	火	18：00 治験審査委員会 19：00 第8回常任理事協議会	25 日 9：55 地域包括診療加算・地域包括診療料に係るかかりつけ医研修会（日医TV会議） 14：00 宮崎から医師を目指そう！フォーラム	
7	水	16：00 支払基金幹事会		
8	木	19：30 県産婦人科医会全理事会		
9	金	17：30 九州医師会連合会監査会 19：00 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（TV会議）	26 月 16：30 県ロコモティブシンドローム対策協議会 18：00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会	↓
		9：00 医療メディエーター研修会（基礎編） 13：00 県災害医療コーディネート研修会		
10	土		27 火 14：00 宮大医学部医の倫理委員会 18：00 医協理事会 18：30 第6回全理事協議会 終了後 医協理事・運営委員合同協議会 19：00 役職員懇談会	
11	日	（山の日） 9：00 医療メディエーター研修会（基礎編） 9：00 県災害医療コーディネート研修会		
12	月	（振替休日）	28 水 15：00 労災診療指導委員会	
13	火			
14	水		29 木 16：30 県慢性腎臓病対策推進会議（Mz-CKDI）世話人会議 19：00 損保ジャパン日本興亜との懇談会	
15	木			
16	金	18：30 県外科医会夏期講演会	30 金 10：00 （東京）地域医療構想アドバイザー会議 19：00 第2回地域医療構想に関する研修会（TV会議）	
17	土	13：30 県訪問看護ステーション連絡協議会総会・研修会 14：30 産業医研修会（前期） 14：30 学校医部会総会・医学会	31 土 14：30 在宅医療協議会役員会 15：00 在宅医療協議会総会・研修会 16：00 （佐賀）九医連常任委員会 17：00 （佐賀）九医連定例委員総会 18：00 （佐賀）九州医連連絡会執行委員会	↑

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

令和元年 7 月 29 日

9		月		
1	日		19 木 14:00 (日医) 日医産業保健委員会	↑
2	月			
3	火	15:00 県立病院事業評価委員会 19:00 第10回常任理事協議会 (予定)	20 金 15:00 (日医) 日医医療秘書認定試験委員会 19:00 広報委員会	↑
4	水	19:00 宮大医学部 5 年生未来の医療を語る全員交流会	21 土 13:00 (岐阜) 全国医師国保組合連合会代表者会 14:20 (岐阜) 全国医師国保組合連合会全体協議会 14:30 保育支援事業全体顔合わせ会	
5	木	19:00 医家芸術展出展者との意見交換会	22 日 9:00 医療メディエーター研修会 (基礎編)	社 保 審 査 ↓
6	金	15:00 (日医) 日医公衆衛生委員会 19:00 自殺対策うつ病研修会 (TV会議)	23 月 (秋分の日) 9:00 医療メディエーター研修会 (基礎編)	
7	土	14:30 産業医研修会 (前期) 14:50 (岡山) 全国医師会医療秘書学院連絡協議会会計監査・試験・常任委員会・総会 15:30 県医師会医学会 16:00 (大分) 全国国保組合協会九州支部総会	24 火 18:15 医協理事会 19:00 第7回全理事協議会 (予定) 終了後 医協理事・運営委員合同協議会	保 審 査 ↓
8	日			
9	月	19:00 県糖尿病対策推進会議幹事会	25 水 14:00 (日医) 都道府県医師会小児在宅ケア担当理事連絡協議会 15:00 労災診療指導委員会 16:40 (日医) 日医小児在宅ケア検討委員会	↓
10	火	19:00 第11回常任理事協議会 (予定)	26 木 18:00 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 19:00 県医療事故調査支援団体連絡協議会・県医医療事故調査支援委員会合同会議	
11	水	14:00 保育サポート会員交流会 16:00 支払基金幹事会 19:00 広報委員会	27 金 14:00 (日医) 日医勤務医委員会 19:00 三師会懇談会	
12	木	19:30 県産婦人科医会常任理事会		
13	金	19:00 土曜会 (報道機関支局長の会) との意見交換会	28 土 14:30 産業医研修会 16:00 県有床診療所協議会総会・講演会	
14	土	15:00 県産婦人科医会秋期総会 15:00 園医部会総会・研修会 (TV会議)	29 日	
15	日		30 月	
16	月	(敬老の日)		
17	火	15:00 (日医) 都道府県医師会長協議会		
18	水			

※都合により、変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医 学 会 ・ 講 演 会

日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，CC：カリキュラムコード（当日，参加証を交付）

がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会 (胃)・(大腸)・(肺)・(乳)

アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
高齢女性の医療を 考える会 8月1日(木) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	女性の健康寿命延伸を目指して －骨粗鬆症診療の重要性とバゼドキシフェンの有用性－ ファイザー株式会社 骨粗鬆症エリア推進チーム 担当部長 江田 誉	77 (0.5)	◇主催 ※宮崎県泌尿器科医会 ☎0985-85-2968 ◇共催 宮崎県内科医会 宮崎県産婦人科医会 ファイザー(株)
	女性の排尿障害とUUI（切迫性尿失禁） 潤和会記念病院 泌尿器科 医長 上別府 豊治	65 (0.5)	
	骨盤臓器脱の診断と治療について 潤和会記念病院 泌尿器科 部長 月野 浩昌	66 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 8月2日(金) 19:00~21:00 県医師会館	事例で学ぶ職場巡視のポイント 産業保健相談員 谷山 ゆかり 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (2.0)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
延岡医学会学術講 演会 8月2日(金) 19:00~20:30 エンシティホテル 延岡	心疾患患者における出血予防の重要性 熊本大学 生命科学研究部循環器内科学 教授 辻田 賢一	42 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 武田薬品工業(株) 延岡市西臼杵郡薬剤師会 ◇後援 延岡内科医会 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
		50 (0.5)	
		73 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第30回宮崎リウマチ医の会 8月3日(土) 15:00~18:10 MRT-micc 参加費:1,000円	関節リウマチの診療中に直面する様々な問題 広島赤十字・原爆病院 リウマチ科 部長 澤部 琢哉	2 (0.5) 4 (0.5)	◇主催 宮崎リウマチ医の会 ◇共催 ※旭化成ファーマ(株) ☎0985-28-2736
	リウマチ上肢の人工関節置換術ー適応と実際ー 岡山大学 医歯薬学総合研究科整形外科学 准教授 西田 圭一郎	61 (0.5) 62 (0.5)	
	関節リウマチの最新治療戦略 松原メイフラワー病院 院長 松原 司	10 (0.5) 19 (0.5)	
宮崎県医師会産業医研修会 8月7日(水) 19:00~21:00 県医師会館	作業環境関連疾患（腰痛・VDT障害）の予防と悪化防止 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の専門研修会：2単位	11 (0.5) 12 (0.5) 37 (0.5) 60 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和元年度うつ病医療連携強化事業研修会 8月7日(水) 19:00~21:00 日向保健所	うつ病のスクリーニングと対応，精神科医との連携について 内村病院 理事長 内村 大介	12 (0.5) 70 (1.0)	◇主催 日向保健所 ◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
南那珂内科会医学会 8月7日(水) 19:00~20:00 南那珂医師会館	糖尿病における非薬物療法 —患者さんに応じたアプローチを含め— 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展	76 (1.0)	◇主催 南那珂内科会 ◇共催 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 日本ペーリンガーイン ゲルハイム(株) 日本イーライリリー(株)
第6回在宅医療推進のための連携・スキルアップ研修会 8月8日(木) 19:00~20:00 県医師会館	薬局としての在り方と今後の展望 岡元薬局 管理者 岡元 俊雄	80 (1.0)	◇主催 宮崎市郡在宅医会 (連絡先) 宮崎市郡医師会病院 ☎0985-24-9119
延岡医学会学術講演会 8月9日(金) 19:00~20:30 エンシティホテル延岡	便秘症の診断と治療：最近の話題 久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門 炎症性腸疾患センター 教授 光山 慶一	53 (0.5) 54 (0.5)	◇主催 延岡医学会 ◇共催 マイランEPD合同会社 (連絡先) 延岡市医師会 ☎0982-21-1300
第14回認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会【TV会議】 8月9日(金) 19:00~21:00 県医師会館【TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸，西白杵】	前頭葉症状が主体となった認知症の一例 野崎病院 川添 哲志	29 (0.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県認知症疾患医療センター
	在宅にて継続的に支援できた前頭側頭型認知症の一例 県南病院 藤元 ますみ	29 (0.5)	
	認知症入院患者と行動制限について —前頭側頭型認知症の行動障害と隔離— 協和病院 宇城 敏秀	29 (0.5)	
	発達障害との絡みが考えられる認知症疾患 吉田病院 富田 精一郎	29 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
令和元年度宮崎県 外科医会夏期講演 会（日本臨床外科 学会地方会） 8月16日(金) 18:30~20:30 県医師会館	会員発表：結腸癌術後CA19-9高値を呈し悪性との鑑別 が困難であった胆嚢炎の1例 宮崎江南病院 外科 濱田 由紀 他	15 (2.0)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-23-9100
宮崎県医師会学校 医部会総会・医学会 8月17日(土) 14:20~16:50 JA-AZMホール	成長曲線の活用法 宮崎大学医学部 小児科 麻田 智子	11 (0.5)	◇主催 宮崎県医師会学校医部会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	【専門医共通講習－⑤地域医療（任意）】※申請中 子ども虐待・ネグレクトに対して学校医がなすべきこと 認定NPO法人チャイルドファーストジャパン 理事長 山田 不二子	12 (1.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 8月17日(土) 14:30~18:30 県医師会館	健康管理，特にメンタルヘルスについて 宮崎大学安全衛生保健センター 教授 武田 龍一郎	70 (2.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	基礎研修の前期研修会：2単位 作業環境管理－整形外科の立場から－ 三財病院 副院長 松本 英裕	11 (2.0)	
都城市北諸県郡医 師会学術講演会 8月20日(火) 19:00~20:40 都城ロイヤルホテル	不整脈と病診連携 都城市郡医師会病院 副院長 岩切 弘直	31 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 ジョンソン・エンド・ ジョンソン(株) バイエル薬品(株)
	日常診療でよく出会う不整脈とその対応 宮崎大学医学部附属病院 循環器内科 助教 黒木 建吾	32 (0.5) 44 (0.5)	
宮崎県医師会産業 医研修会 8月21日(水) 19:00~21:00 県医師会館	今日のうつ病の理解と対応 産業保健相談員 中村クリニック 院長 中村 究	1 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
	生涯研修の実地研修会：2単位	5 (0.5)	
		69 (0.5)	
		70 (0.5)	

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 8月22日(木) 19:00~21:00 延岡市医師会病院	温熱環境等の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
佐土原地区医師会 学術講演会 8月22日(木) 19:00~20:10 シーガイアコンベンションセンター	健康寿命延伸に向けた不眠症治療 メディカルシティ東部病院 副院長 小林 浩二	20 (1.0)	◇主催 佐土原地区医師会 ◇共催 ※MSD(株) ☎0985-28-9496
地域医療構想に関する研修会－療養病床の転換の選択肢としての介護医療院について－ 【TV会議】 8月23日(金) 17:30~20:30 県医師会館【TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，南那珂，西諸，西臼杵】予定	地域医療構想について 宮崎県 福祉保健部長寿介護課 ----- 介護医療院の施設基準，移行支援策等について 宮崎市 保健部介護保険課 ----- 【専門医共通講習－⑤地域医療（任意）】※申請中 介護医療院の果たすべき機能と役割について（仮） 日本医師会 常任理事 江澤 和彦	12 (0.5) ----- 12 (1.0) ----- 12 (1.5)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県 宮崎市
第54回宮崎救急医学 学会 8月24日(土) 13:00~18:00 県立延岡病院 参加費：500円	聖路加国際病院で経験した，小規模～大規模災害とその対応 聖路加国際病院 副院長 救命救急センター センター長 石松 伸一	10 (0.5) 14 (0.5)	◇主催 第54回宮崎救急医学会 (連絡先) 宮崎県立延岡病院 ☎0982-32-6181

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
2019年度 地域包括 診療加算・地域包 括診療料に係るか かりつけ医研修会 (日医TV会議) 8月25日(日) 9:55~17:30 県医師会館	糖尿病 菅原医院 院長	菅原 正弘 76 (1.0)	◇主催 日本医師会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	認知症 ゆう心と体のクリニック 院長	瀬戸 裕司 29 (1.0)	
	脂質異常症 江草玄士クリニック 院長	江草 玄士 75 (1.0)	
	高血圧症 角谷リハビリテーション病院 院長	有田 幹雄 74 (1.0)	
	服薬管理 東京大学医学部附属病院 老年病科 教授	秋下 雅弘 73 (0.5)	
	禁煙指導 国立がん研究センター 理事長特任補佐	正林 督章 11 (0.5)	
	健康相談 亀田ファミリークリニック館山 院長	岡田 唯男 4 (0.5)	
	介護保険 志村大宮病院 理事長・院長	鈴木 邦彦 13 (0.5)	
	在宅医療 医療法人社団つくし会 理事長	新田 國夫 80 (0.5)	
第2回宮崎慢性痛 治療セミナー 8月28日(水) 18:45~20:30 宮崎観光ホテル	痛みはどこからくるのか? -神経から脳, そして心へ- 愛知医科大学医学部 学際的痛みセンター 特任教授 西原 真理	5 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 宮崎慢性痛治療セミナー ◇共催 ※塩野義製薬(株) ☎0985-27-1041

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
日向地区多職種連携講演会 8月28日(水) 19:00~20:45 千代田病院	認知症治療とそのケアー漢方薬にできることー けいめい記念病院 脳神経外科 副院長 岡原 一徳	21 (0.5) 29 (0.5) 83 (0.5)	◇主催 千代田病院 ◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎0982-52-0222 日向市東臼杵郡内科医会 日向市東臼杵郡薬剤師会 宮崎県看護支援専門員協会 (株)ツムラ
宮崎県医師会産業医研修会 8月29日(木) 19:00~21:00 県医師会館	職場における作業環境管理 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター センター長 鈴木 斎王 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第8回宮崎PEECコースin都城 8月31日(土) 13:00~17:00 都城市郡医師会病院	救急現場における精神的問題の初期対応 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 講師 三好 良英	13 (1.0) 68 (1.0) 69 (1.0) 70 (1.0)	◇主催 宮崎大学 ◇共催 宮崎県 日本臨床救急医学会 (連絡先) 宮崎大学医学部臨床 神経科学講座 ☎0985-85-2969
宮崎県医師会在宅医療協議会総会・研修会 8月31日(土) 15:00~17:30 県医師会館	ICTを使った医療介護連携の試み 南那珂医師会 島田 雅弘 延岡市医師会 榎本 雄介 宮崎市郡医師会 外山 博一 ----- 【専門医共通講習ー⑤地域医療(任意)】※申請中 アンケート調査結果から考える2025年における地域ごとの在宅療養環境(グループワーク) 座長 宮崎県医師会在宅医療協議会 理事 石川 智信	80 (1.0) 12 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業医研修会 9月4日(水) 19:00~21:00 県医師会館	長時間労働者の面接指導 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 9月6日(金) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医 師会館	職場における糖尿病対策 日南市立中部病院 副院長 中津留 邦展 生涯研修の専門研修会：2単位	5 (0.5) 11 (0.5) 76 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 9月7日(土) 14:30~17:30 県医師会館	企業における健康保持増進 宮崎大学医学部 社会医学講座公衆衛生学分野 教授 黒田 嘉紀 基礎研修の前期研修会：1単位	11 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
	産業医活動の実際 潤和記念病院 谷山 ゆかり 基礎研修の前期研修会：2単位	1 (2.0)	
令和元年度宮崎県 医師会医学会 9月7日(土) 15:30~17:30 県医師会館	スポーツ診療について(仮) 宮崎大学医学部 感覚運動医学講座整形外科学分野 教授 帖佐 悦男 消化器内視鏡のAI診断について 大阪国際がんセンター 消化管内科 診療主任 七條 智聖	19 (1.0) 9 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第31回宮崎県糖尿 病教育セミナー 9月8日(日) 9:55~16:45 南九州大学都城キ ャンプス 参加費：3,000円	科学的根拠に基づいた療養指導 ーあなたは“3た論法”にだまされている!?ー 平和台病院 谷口 尚大郎 エビデンスに基づく糖尿病診療 たまきクリニック 院長 玉置 昇 おいしく食べよう！食べ方123ー昼食の解説ー 大悟病院 栄養管理室 室長 時任 映理 外来での生活指導は難しい 宮崎大学医学部 内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野 医員 上平 雄大 胃切除術後の糖尿病療養指導の実際 ーインスリン導入への関わりー 三州病院 看護師 竹原 けい子 調剤薬局で行う糖尿病療養指導 そうごう薬局 三股仲町店 薬局長 鳥谷部 隆多 患者さんに寄り添った療養指導 宮永病院 栄養管理室 副主任 永山 美里 糖尿病の運動療法 宮永病院 リハビリテーション室 理学療法士 宮越 貴裕	76 (1.0) 76 (1.0) 76 (0.5) 76 (0.5) 76 (0.5) 76 (0.5) 76 (0.5) 76 (0.5)	◇主催 宮崎県糖尿病懇話会 ◇共催 ※ノボルディスクファーマ(株) ☎0985-20-1891 ◇後援 宮崎県医師会 都城市北諸県郡医師会 宮崎県薬剤師会 宮崎県病院薬剤師会 宮崎県看護協会 宮崎県糖尿病療養指導士会 宮崎県歯科医師会 都城歯科医師会 宮崎県臨床検査技師会 宮崎県栄養士会 宮崎県糖尿病対策推進会議

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
ストップ！NO卒中プロジェクトエリア会議in宮崎 9月13日(金) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	ICTを活用した脳卒中の地域連携と医療について 東京慈恵会医科大学 神経内科 准教授 三村 秀毅	9 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 日本脳卒中協会 宮崎県病院薬剤師会 ※ファイザー(株) ☎092-281-7031
宮崎県医師会産業医研修会 9月19日(木) 19:00~21:00 都城市北諸県郡医師会館	温熱環境等の労働衛生管理について 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント 下津 義博 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 11 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第4回宮崎県上気道免疫療法研究会 9月19日(木) 19:00~20:30 宮崎観光ホテル	当科における両側性慢性副鼻腔炎・鼻茸症例の検討 - ECRSを中心に - 宮崎大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野 助教 後藤 隆史	39 (0.5)	◇主催 宮崎県上気道免疫療法研究会 ◇共催 ※鳥居薬品(株) ☎096-359-5485 ◇後援 日本耳鼻咽喉科学会 宮崎県地方会 宮崎県耳鼻咽喉科医会
参加費：1,000円	舌下免疫療法の現状と課題 日本医科大学武蔵小杉病院 耳鼻咽喉科 教授 松根 彰志	39 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 9月20日(金) 19:00~21:00 県医師会館	メンタルヘルスにおける産業医面談(I) 産業保健相談員 西都病院 植田 勇人 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連絡先
第9回宮崎PEEC コースin宮崎市 9月28日(土) 13:00~17:00 宮崎市保健所	救急現場における精神科的問題の初期対応 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 講師 三好 良英	13 (1.0) 68 (1.0) 69 (1.0) 70 (1.0)	◇主催 宮崎大学 ◇共催 宮崎県 日本臨床救急医学会 (連絡先) 宮崎大学医学部臨床 神経科学講座 ☎0985-85-2969
宮崎県医師会産業 医研修会 9月28日(土) 14:30~16:30 県医師会館	作業環境測定の実際(騒音および化学物質の測定) 宮崎大学医学部 社会医学講座公衆衛生学分野 教授 黒田 嘉紀 基礎研修の現地研修会: 2単位 生涯研修の現地研修会: 2単位	1 (1.0) 7 (1.0)	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会 10月2日(水) 19:00~21:00 県医師会館	健康診断結果に基づく事後措置の事例検討 産業保健相談員 宮崎県立看護大学 教授 江藤 敏治 生涯研修の現地研修会: 2単位	1 (0.5) 8 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
医療安全対策セミナー(宮崎県医師会医療安全対策研修会)【TV会議】 10月4日(金) 19:00~20:35 県医師会館【TV会議場: 都城, 延岡, 日向, 児湯, 西都, 西諸, 西臼杵(高千穂町国保病院)】	【専門医共通講習-②感染対策(必修)】※申請中 見えないものが見えてくる! 院内感染対策の『目の付け所』 沖縄県立中部病院 感染症内科 医長 椎木 創一	8 (1.5)	◇主催 宮崎県医師会 ◇共催 ※宮崎県医師協同組合 ☎0985-23-9100

名称・日時・場所	演 題	CC (単位) がん検診	主催・共催・後援 ※ = 連 絡 先
宮崎県医師会産業 医研修会 10月10日(木) 14:00~16:00 県医師会館	ストレスチェックテスト後の面談ー自立訓練編ー 産業保健相談員 都城新生病院 前原 正法 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 7 (0.5) 11 (0.5) 0 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業 医研修会 10月24日(木) 19:00~21:00 県医師会館	治療と職業生活の両立 産業保健相談員 宮崎大学医学部附属病院患者支援センター センター長 鈴木 齋王 生涯研修の専門研修会：2単位	1 (0.5) 5 (0.5) 7 (0.5) 10 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
令和元年度宮崎県 外科医会秋期講演 会（日本臨床外科 学会地方会） 10月25日(金) 19:00~20:30 県医師会館	内視鏡外科技術認定のポイントとさつま鏡塾について(仮) 鹿児島市立病院 外科 科長 柳 政行	1 (1.5)	◇主催 宮崎県外科医会 (連絡先) 宮崎県医師会 ☎0985-23-9100

お知らせ

クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、令和元年5月1日より同年10月31日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装（クールビズ）の実践に取り組みます。

会議等の場合でも軽装（ノーネクタイ・半袖等）で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

診療メモ



薬疹について

にしだ皮膚科 西 田 隆 昭

薬疹分野の研究の躍進はめざましく、Stevens-Johnson症候群（SJS）や中毒性表皮壊死症（toxic epidermal necrolysis：TEN）などのアレルギー性薬疹や薬剤性過敏症症候群（drug-induced hypersensitivity syndrome：DIHS）などの重症薬疹は病態の解明も進み、治療のアルゴリズムも示されています。皮疹や全身状態が悪化していく時はこれら重症薬疹も考慮に入れた対応が必要になります。また以下は薬疹というよりも薬剤性皮膚障害と言うべきものになります。抗癌剤の分野では、殺細胞的なものではなく、癌細胞の増殖・浸潤・転移などに関与する分子や癌細胞に特異的に作用し、その機能を制御する分子標的薬もたくさん出てきています。例えばタルセバ®やイレッサ®などの上皮成長因子受容体（epidermal growth factor receptor：EGFR）阻害薬はEGFRが癌細胞のみならず、正常の表皮細胞や付属器細胞にも発現しているため、薬理効果による皮膚障害が頻発します。皮膚障害がもとで、癌治療が中断されることがないようにうまくコントロールしていく必要があります。他にもオプジーボ®などの免疫チェックポイント阻害薬による皮膚障害や、糖尿病薬DPP-4阻

害薬による自己免疫性水疱症など、新しい薬剤による新しい薬剤性皮膚障害がみられています。

一方で、従来からのアレルギー性薬疹も多くみられます。「中毒疹」という病名があり、体幹主体、四肢主体、略全身など範囲は様々ですが、おおむね左右対称性に様な皮疹がたくさん出た時にとりあえずつけます。原因は分からないことも多いのですが、全身的な理由で起こり、食べ物や薬剤、造影剤など、また細菌、ウイルス感染などからのこともあります。薬疹は同じ場所に繰り返す固定薬疹や腋下や単径部などに出る間擦部型など部分的なものもありますが、この多くはこの中毒疹の形をとります。以下、診察の経過に沿って述べていきます。

皮膚科的に皮疹を診た場合、まずそれが局所的なものなのか全身的なもののかを考えて対処します。局所的なもの代表は虫刺されや外傷、水虫などで、その部分の対処が主になります。全身的なもの代表が蕁麻疹や中毒疹などになり、全身に目を配る必要があります。全身的なものは発熱を含めた全身状態、粘膜症状の有無、リンパ節腫大の有無と程度、様子や皮膚

が簡単に剥離していくニコルスキー現象の有無などをチェックし対応にあたります。何らかの内服をされている方の中毒疹を診た時は、全身状態その他を勘案し、薬剤を継続したままとするか、変更中止をお願いするかをまず判断することになります。状態良く待てる状況であれば無治療、またはステロイドの内服外用や抗ヒスタミン剤内服などを使いながら経過をみます。一方で全身状態が悪かったり、皮疹の程度が激しかったり、ニコルスキー現象陽性などの時は、重症薬疹も考え、入院対応ができる場所をお願いすることになります。経過の判断は数日でできることが多いのですが、やはり中毒疹の患者さんを診る時はひやひやします。

薬剤使用中の方で中毒疹が長引いたり、悪化したりするときは薬疹も疑います。その場合まずは最近始まった薬から疑います。「腰痛で痛み止めを使い出したら皮疹が出た…」(これは一概に薬疹とは言い切れないのですが)「ピロリで除菌が終わった頃に皮疹が出た…」などはよく経験し、被疑薬を絞り込みやすいタイプです。一方で、最近始めた薬がないのに中毒疹が続く時は悩みます。「これは昔から飲んでいて、どうもないから…」と患者さんは言われますが、経過が長くても大丈夫と言い切れるものではありません。また個々の医師が経験する症例には限りがあるため、薬疹を疑った時は過去の薬疹情報や統計的報告などを参考に被疑薬を絞り込んでいきますが、原病やその薬剤が選ばれた経緯などはこちらでは分かりませんので、薬剤の中止や変更はどうしても処方された先生

と相談をしながらになります。上手くいってスパッと治る時もあれば、なかなか治らず、何度も薬剤の中止や変更を依頼することもあります。複数の医師からたくさん処方されている方は被疑薬の優先順位をつけるにも苦労します。お願いする皮膚科医側としても確証をもっているわけではなく、治らず、長引いている患者さんのことを相談しているので、どうぞその時はご協力をよろしくお願いいたします。

中毒疹が治れば一段落なのですが、薬剤の変更・中止のタイミングで症状軽快した人は時間経過で軽快したのか、本当に薬疹であり、変更・中止によって軽快したのかを考える必要があります。薬疹の検査としては皮内テスト、パッチテスト、薬剤リンパ球刺激試験(DLST)などいろいろありますが確実なものはありません。内服チャレンジで皮疹の再燃をみるのが原因を特定するのに確実ですが、ほとんどの場合は患者さんが希望されません。薬剤中止で皮疹が軽快した場合にそれが原因薬剤だったのだろうと類推するにとどまります。あやしい薬剤はお薬手帳、薬疹カードなどに記載し、以後気を付けてもらうようにします。

臨床の現場で診る薬疹は、最後まで詰めきれず、疑いで終わることも多々あります。すっきりしない文章が続きましたが、実際の現場でもこのような感じです。薬疹は診察にあたった皮膚科医だけの問題ではなく、処方された先生にも関係する問題ですので、ご面倒でしょうが、薬疹「疑い」の件で相談があった時はよろしくお願いいたします。

宮大医学部学生のページ



Prince of Songkla University (PSU) 留学体験記

宮崎大学医学部医学科6年 やま もと ま ゆ 山 本 麻 由

かねてより先輩方からの報告を見聞きし、心待ちにしていたPSU留学に行ってみました。宮崎大学、PSUの先生方や国際交流室の皆様を含め多くの方のご支援をいただき、大変充実した実習ができました。この場をお借りして感謝申し上げます。拙文ではございますがPSUでの体験を報告させていただきます。

海外留学はクリクラIIの学外実習の一環として4週間設けられています。学生は留学前の約1年間、EMP (English for Medical Professionals) を受講し必要な語学力、医療面接やプレゼンの訓練をします。私は、5月6日～31日の4週間、Emergency Medicine, Family Medicineで2週間ずつ実習させていただきました。現地で感

じた宮崎大学との教育体制の違いについて書かせていただきます。

まず驚いたのは学生に求められる臨床能力のレベルが高いことです。ERでは患者さんの問診・診察を積極的に学生が行い、研修医にプレゼンをします。そして動脈血採取、縫合、ドレナージなどの処置も研修医の指導の下で学生が率先して行います。学生は実習に備え、縫合の練習や臨床現場に即した学習をし、実習の場でフィードバックを受けているのです。タイでは卒業後、医療資源の少ない地域に派遣される研修医が多く、そこでは上級医の手厚い指導はありません。患者さんを任せ自らの責任の下でアセスメントする必要があります。そのため学



Family Medicine, Officeにて先生方と

生は臨床現場で通用するスキルを身に着けるべく日々研鑽を積んでいます。また、カンファレンスでは学生を交えてディスカッションをするのですが、先生方は学生に「君が主治医ならどうするか」と質問を投げかけていました。今まで知識を覚えるだけで、患者さんを想定したアウトプットをしてこなかった私は、このカンファレンスで衝撃を受けました。宮崎大学での実習では学生が診療に直接的に関わる機会は少ないですが、多くの症例に触れ自分ならどうするかを考える訓練はできたはずです。空き時間に国試を解き、先生のレクチャーを受け、手術見学をする受け身の姿勢では研修医になってから自分で考えて行動できない状況になるのではないかと危機感を覚えました。これらの経験を研

修に活かしお世話になった先生方に恥じないよう、医師として成長していきたいです。

そして後輩の皆さんには宮崎大学との違いを是非、肌で感じて欲しいです。私の場合、今回の留学をきっかけに「自分が主治医ならどうするか」をより具体的に考えるようになりました。PSUに限らず他大学の実習を経験することで、実習に対する姿勢が格段に変わると思います。

まとまりのない文章となってしまう申し訳ございません。今回の留学で感じたことをありのまま書かせていただきました。医師会の先生方には学生教育においても普段から大変お世話になっております。今回の貴重な経験を活かしより一層、精進して参りますのでご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



Family Medicineの先生方と食事



現地の留学生担当の方と



Family Medicineの先生、現地の学生と診療所にて撮影



現地の学生とビーチにて

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名、パスワードが必要です。県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

送付日	文 書 名
6月7日	<ul style="list-style-type: none"> セファゾリンナトリウム注射用「日医工」の供給不足に伴う医療機関における抗菌薬供給等に関する情報収集について 令和元年度介護事業実態調査（介護事業経営概況調査）に関する協力依頼について 介護保険施設等に対する実地指導の標準化・効率化等の運用指針について 「平成30年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査（平成30年度調査）の結果について（最終版・情報提供）」の送付について 認可外の事業所内保育施設に係る届出制の導入について
6月10日	<ul style="list-style-type: none"> 胃腸薬製造販売承認基準の一部改正について 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律施行令第80条第2項第5号の規定に基づき厚生労働大臣が指定する医薬品の種類等の一部を改正する件について チサゲンレクルユーセル製剤（キムリア点滴静注）に係る「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」の一部改正について チサゲンレクルユーセル製剤（キムリア点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項について ビタミン主薬製剤製造販売承認基準の一部改正について 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について 公知申請に係る事前評価が終了し、医薬品医療機器等法に基づく承認事項の一部変更承認がなされた医薬品の保険上の取扱いについて アクテムラ点滴静注用80mg、同200mg及び同400mgの医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正について 平成30年職場における熱中症の発生状況（確定値）等について 宮崎県における難病指定医研修のweb研修への移行について
6月11日	<ul style="list-style-type: none"> NBCR対策推進機構 第7回「爆発物災害対策担当者養成講習会」の開催について 労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令、労働安全衛生規則の一部を改正する省令及び労働基準法施行規則の一部を改正する省令の施行に係る周知について 日本学校保健会主催各種研修会の開催について 厚生労働省「熱中症予防の普及啓発・注意喚起について」 身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドラインの発出について
6月12日	<ul style="list-style-type: none"> 旧優生保護法一時金支給請求に関する診断書作成の手引について 保健衛生業及び陸上貨物運送事業に対する腰痛予防対策講習会の周知について 4種混合ワクチン（DPT-IPV）（製品名：テトラビック皮下注シリンジ）の一部ロット製品の回収について 結核の集団発生に係る注意喚起について 結核研修派遣事業について
6月14日	<ul style="list-style-type: none"> 「医療保険制度の適正かつ効率的な運営を図るための健康保険法等の一部を改正する法律」の公布及び一部の施行について 「使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について」等について 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について

送付日	文 書 名
6月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・「外国人雇用のルールに関するパンフレット」の送付について ・「使用上の注意」の改訂について ・かぜ薬等の添付文書等に記載する使用上の注意の一部改正について ・ゲル充填人工乳房の「使用上の注意」の改訂について ・医療事故の再発防止に向けた提言第9号の公表について ・ペムプロリズマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌，悪性黒色腫，古典的ホジキンリンパ腫，尿路上皮癌及び高頻度マイクロサテライト不安定性（MSI-High）を有する固形癌）の一部改正について ・ニボルマブ（遺伝子組換え）製剤の最適使用推進ガイドライン（非小細胞肺癌，悪性黒色腫，頭頸部癌，腎細胞癌，古典的ホジキンリンパ腫，胃癌及び悪性胸膜中皮腫）の一部改正について
6月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の医薬品適正使用の指針（各論編（療養環境別））について ・フィブリノゲン製剤等の投与に係る診療録等の確認作業について ・厚生労働省「医療・介護分野における職業紹介事業に関するアンケート」の実施について ・「精神保健指定医の新規申請等に係る事務取扱要領の制定について」の一部改正等について ・セファゾリンナトリウム注射用「日医工」の供給不足に伴う調査（厚生労働省）について ・第22回九州ブロック介護福祉士研修大会inみやざき開催要項の送付について ・平成30年7月豪雨により被災した被保険者の保険料及び利用料の減免措置に対する財政支援の取扱いについて ・エボラ出血熱に係る注意喚起について ・独立行政法人福祉医療機構による「働き方改革支援資金」，「地域医療介護総合確保基金の対象事業に係る優遇融資」，「『無床診療所の新設』について融資対象範囲拡大」のお知らせ
6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・日本准看護師連絡協議会研修会について
6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・身寄りがいない人の入院及び医療に係る意思決定が困難な人への支援に関するガイドラインの発出について ・「授乳・離乳の支援ガイド」の改定について ・東日本大震災に伴う保険診療の特例措置に関する利用状況等の資料提出依頼について ・平成30年7月豪雨による被災に伴う保険診療の特例措置に関する利用状況等の資料提出依頼について ・使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて
6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・エボラ出血熱に係る注意喚起について ・第17回九州地区健康教育研究大会（大分大会）の開催について ・令和元年度環境省事業「特別管理産業廃棄物多量排出事業者等を対象にした電子マネーフェスト導入説明会及び電子マネーフェスト操作体験セミナー」の開催について ・小児慢性特定疾病の疾病追加等について ・「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」に規定する介護保険法の一部改正について（介護サービス事業所の指導・監督関係）
6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム付商品券事業について
6月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度結核予防技術者地区別講習会の開催について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・「使用上の注意」の改訂について ・抗コリン作用を有する薬剤における禁忌「緑内障」等に係る添付文書の「使用上の注意」の改訂について ・後期高齢者に係る保健事業への御理解と御協力について ・民法の一部を改正する法律（平成29年法律第44号）の施行に関する周知について

あとかき



等みんな色々なことを話していますが、31順目となるともう話すことはなく、そもそもスピーチ自体を至極ストレスに感じている人も多くいます。この行事は苦痛なので止めて欲しいと相談されたときは、こんな考え方をしたらどうか？と話しています。「人はつらいことやストレスに感じていることを何かしら持っている。スピーチがなくても他のことをストレスに感じてくるので、その度合いは同じだ。私の身近にいる専業主婦は毎朝、弁当を作るのがつらい、これさえなければと言っている。その後また寝られるのに。仕事をしている人なら弁当を作ってからさらに仕事が残っているのに。私も日々の診療や治療で極度の緊張を強いられることがあるが、そんな日は朝から変なストレスを感じている。しかし講演を頼まれるとそちらのストレスのほうが大きいので、日々の診療に意味のないマイナスの緊張を感じなくなるので、治療もスムーズに行うことができる。みんなもスピーチがあることで他のことにストレスを感じなくなっているのでもいいじゃないか？そもそも一番のストレスが朝のスピーチだなんて、幸せな人生じゃないか」と…しかしあまり納得されません。(沖田)

* * *

別府杉乃井ホテルに行きました。広い敷地に雄大な露天風呂や波の出るプール、各種ウォータースライダー等の施設があり、夜には噴水ショーやプロジェクションマッピング等が催され、大人も子どもも一日中楽しめる場所でした。食事もバイキング形式ですが、内容も味も、その供し方も素晴らしく、妻も娘も大満足でした。大分には遊園地、猿山、サファリパーク等の行楽地が多く、温泉、グルメも充実しています。また訪れたいとは思いましたが、あの大部分単線の高速道路はなんとかならないのでしょうか？(稲倉)

* * *

次男が所属する小学生ミニバスケットボールチームの部員数が、6年生の卒業により8名になってしまった。一時は部の存続が危ぶまれていたのだが、4月以降何と10名の入部があり、一気に盛り上がってきた。10名全員が初心者なのだが、4年生が多いので、半年後には期待が持てるのではと次男は思っている。諦めない、前向きなチームプレーは見ている者を惹きつけ、元気をくれる。子どもたちには、ミニバスで培った精神で社会の荒波を乗り越えてほしいと思う。(山崎)

* * *

昨日は参議院選挙でした。今回の選挙では、ある注目された党が比例代表で議席を確保されました。党の名前は、やや過激であると思ひ、あえて伏せさせていただきます。一億円以上する選挙資金と人材はすべてYouTubeで集めたそうです。政見放送も、YouTubeで何百万回も再生されており、ご存知の方もいると思います。賛否両論あるのは当然だと思ひ

当院では2010年から毎日、朝礼の最後に3分間スピーチというものを行っています。ある日理事長が「人前で話すことは大切だから、従業員全員順番に毎日スピーチをしよう」と始めた行事です。まわってくるのは3~4か月に1回ですが、9年経ち現在31順目のスピーチをしています。内容はなんでもよく3分といっても時間も自由です。旅行や趣味、好物、家族のこと

ますが、この行動力が欲しいこの頃です。(植田)

* * *

今年のウィンブルドン選手権の決勝戦は、ジョコビッチ選手とフェデラー選手の5時間弱に及ぶ熱戦でした。“芝の王様”ことフェデラー選手は37歳という年齢ながらも圧倒的なプレーを見せ、一方のジョコビッチ選手も要所要所でポイントを決めるという決勝戦にふさわしい試合でした。決着がついたのは月曜午前3時半、眠気と格闘してでも観戦して良かったと思うと同時に、3連休でよかったと心の底から感じました。(伊澤)

* * *

最近、臨床実習前の共用試験であるOSCE: Objective Structured Clinical Examination (客観的臨床能力試験)のための実習が始まりました。実習着を着て聴診器を使ったりしながら、診察の仕方を勉強するのは初めてのことで、とても新鮮な気持ちです。実際にやってみると、見た目以上に難しくなかなか上手くできないので、これから練習していこうと思います。

(河野(真))

* * *

今回の参議院選挙では宮崎県医師連盟が推薦する比例区の羽生田たかし氏、宮崎選挙区の長峰誠氏がそれぞれ2期目の当選を果たし、まずはほっとしたところでしょうか。県医師会にかかわるまで医政という言葉を知りませんでした。法案の草稿から可決・成立にいたるまで国会議員の先生方が深く関与しているのを見ると、医療も政治と無関係ではられません。2人の先生方の今後のご活躍を期待します。

(佐々木)

今月のトピックス

日州医談 予防接種の現状と展望

予防接種の現状と展望と題し、峰松俊夫理事に解説していただきました。基礎となる考え方から、風しん、麻しん、流行性耳下腺炎の現状と実例、そして今後の展望を示していただきました。初めて知る内容が多く、勉強になりました。51歳男性として考えさせられましたが、全年齢の方に知っておいてほしい内容です。ぜひお目通しください。

4 ページ

はまゆう随筆その2

はまゆう随筆その2をお届けします。時事問題や旅行記や趣味の話題など硬軟織り交ぜた多彩な内容です。忙しい仕事のなかたくさんのご寄稿ありがとうございます。先輩の考え方や行動は、後に続く者にとってとても参考になります。日々の仕事に忙殺されるだけでなく、楽しみを見つけて長く仕事を続けていくことが大事だなど改めて思いました。個性豊かな文章が並んでいます。ぜひご一読ください。

6 ページ

メディアの目 ふるさと 平成の桃源郷で知る故郷の心

西米良村で行われているICT技術を活用した教育の様子から始まって、「菊池の心」に展開していきます。IT技術を上手に使いながら、相手を思いやる心や「菊池の心」を大事に残していく、そのバランスが大事だと思いました。私、宮崎に来て丸30年になりますが、県内にまだ行ったことのないところがたくさんあります。いつか書くはまゆう随筆のためにもどこそこ訪ねてみようと思います。

17 ページ

日 州 医 事 第840号(令和元年8月号)(毎月1回10日発行)

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会 会長 河野 雅行
〒880-0023 宮崎市和知川原1丁目101番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550
<http://www.miyazaki.med.or.jp/> E-mail:office@miyazaki.med.or.jp

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 西田 隆昭・副委員長 稲倉 琢也, 野村 勝政
委 員 沖田 和久, 山崎 俊輔, 上山 貴子, 植田 雄一
学 生 委 員 伊澤 和範, 土持 友香, 河野 太地, 河野 真菜
担当副会長 山村 善教・担当理事 荒木 早苗, 佐々木 究
事 務 局 学術広報課 本崎 礼子, 牧野 諭

印刷所 有限会社 中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350円(但し, 県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります)